KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

洋学文庫
文庫8
A 149
1

草稿

自あ
至き

大槻文庫

45
118
199

あゝくた「塵芥」ハ掃除語ナリ（其條ニ見ル）

「塵芥」（クタ）（其條中見ル）ハ其條ニあゝ接頭語ヲ冠セル語ナリ

クタ。コヅミ。ゴミ。

「ヒ」ヒ、セ、カ黒キ髪ニ飾ル物

「ヒ」ヒ、セ、カ黒キ髪ニ飾ル物ニ「ヒ」ヒ、セ、カ黒キ髪ニ飾ル物ニ

俵名抄、一七「糞堆、阿久太布」（塵塚ナリ其條ヲ見ル）

名義抄「糞、アクタ」字類抄「芥、アクタ」（糞ハ字義ハ糞ニ

詞ニテ掃除ふり禮記曲禮「為長者糞之」礼必加帚于

箕上ニ轉ビテ掃フベキ汚物ノ名トナル俵名抄名義抄糞ト

ハ此義ナリ、「再轉シテ大便ノ意トナル」

間食

昔ハ一日一定ノ食事ハ朝夕ノ二度ナリキ。後ニ三度ノ食事ノ間ニ物ヲ食フヿ、空腹ヲ補フ。間食ハ一日ニ

一日一定ノ食事ノ間ニ物ヲ食フヿ、空腹ヲ補フ。間食ハ

書ニ食ト夕食ノ間ニ食フヿ。小昼飯ト云ヒ朝茶子ニ茶ニ

八ツ時(午後二時)ニ茶ニ

婦人語ニ、おやつト云ヒ菓子ナド食フ。

い蜘蛛（絲ヲ吐ク草、くぐつ草、欄干、おはしま）くもの、いと

トモ云フ　又、くもの、いと、蜘蛛

腹部ヨリ出ス極メテ細キ白絲ノ如キモノ　コレニテ網ノ如キモノヲ

作ルヲ、くもあみ又、くもの巣ト云フ　作ル構ト云フ因テ、くもの、いがき、く

もの巣がきト云フ

（其條ヲ見ヨ）

源氏集、其巻中者「イツコトモ、イサヤ白波立チヌレテ下ナル草ヲカ

ケる蜘ノ、」（首尾ニ、ヲ詠ミタル歌ナリ）

蜻蛉日記　「露ニテモ命カケタルくもノ、いと荒キ屋ニハ誰

レカ防ガム」

金葉の歌
上「荒カリシ
風ノ後より
絶エヌルハくゝル
でこもがく
糸ニヤアルラ
」

十訓抄上「岩ノモトニ蜘ト云フモノハヨカケタリケルニ大ナル蜂ノカヽリケル
ケルニいヲ繰リカケテ巻キ殺サムトシケル云々」

永久百首。雑「枯レイヒル軒ノアヤメヲタヨリニテ繰リ丈ニ引クくもノ
いとぞぢ」

[illegible]集「[illegible]荒屋ノ宿ニカキ[illegible]くもノいとぞ[illegible]」

少夫君集「彦星ノ来ベキ夜トヤ ササガニノくもノいがきヲカケテ
見ユラム」

拾遺。雑秋「秋風ハ吹キ莫破リソ我ガ宿ノアバラ隠セル
くもノまがきヲ」

いし「倚子」ハ倚ヨリかりり子ハ冊子、瓶子帽子ナド云フ
ニ同ジ

コシカケ。背。倚懸アリ、左右。肘掛アリ、後世禅家ノ用
話ニ因テ椅子ト云フモノ是レヨリ
木工寮式「大倚子、高一尺二寸、長二尺五寸、廣一尺五寸、
小倚子、高一尺三寸、長一尺五寸、廣一尺三寸、
西宮記、陪時四官外記廳座「東廂下、西面ニ大臣倚子
有「椅云」
源一、桐壺「殿ノ東ノ廂、東向ニシテ立テ冠者
ノ御座、[illegible]ノ大臣ノ御座御前ニアリ（東宮御元服ヲ云フ）

天皇ノ着御ハ侍ル中ニ殊ニ紫宸殿ニテ拜賀ナ
ト受ケ給フニ用サセラルハ黒柿造リ
掃部寮式、見御座者云ニ紫宸殿設黒柿子侍
ラニ
拾遺、十六、雜、春、同じ御時（天暦）梅花ノ下ニ侍いし立テ
サセタリケレバ花宴セサセタマフニ云ニ
大鏡、上、御侍ヨトテ殿上ノ奥ノ座ノ上ニ立テラレ侍ルヨリ紫檀
造ル侍ルナルニ云ニ ハ欄干ノ「名目抄、雜物ノ侍ヨ」

いちげ、ちんぐ、「一夏安居」（一夏ハ夏中、夏イツハイ、ノ義（一国一家
同じ）ハ居ノ異音ナリ 天竺ノ地ハ夏期ハ霖雨多ク又出蛇ナド蟠ミ
ヲ修道セシノタトヘニ云ハ、安居ハ安穏居ノ意ナリ」 草木、菜
仏教ノ語、又夏安居、夏籠、夏行トモ云ヒ下略シテ夏トノミ
モ云ヒ上略シテ安居トモ云フ 隋暦夏期四月十四日ヨリ七月十
四日マデ家ニノミ居テ講経修道シテアルヒ、四月ニ始ルヲ結夏
ト云ヒ七月ニ解散スルヲ解夏又夏解ト云ヒ七月十五日自由ノ
身トナリ自恣ト云フ、又安居ニ参ズル者ヲ夏衆ト云ヒ参会
ノ回数多キヲ長老ト云ヒ夏臘ト云ヒ此間経文ヲ読誦

スルヲ夏経トスト供養ノタメニ経文ヲ写シテ夏経ト云フ

盛衰記十六、三井寺焼失「伽藍一宇モ殘ラズ焼ケニケリ。一夏安居ノ伽藍モナケレバ供花ノ蕾モ絶エニケリ」

天武紀下、十二年「是夏始請僧尼安居于宮中」

義経記三、書写山炎上「コバケト申ス諸国ノ修行者充満シテ餓鬼モナク勤メケル」 通歩色集「夏籠」結夏自四月一至七月十四日 九十日也 盛衰記九、山門堂塔「堂衆ト申スハ云ニ座主賢僧正御沿山ノ時ヨリ三塔ニ結番シテ夏衆ト號シテ伽藍ニ花奉ツレ那事也」 天網島（　）下「一夏ニ一部夏書セシ大菩提ノ普門品」

えいらくせん 「永楽銭」支那ノ明代ノ永楽年間ニ鑄ル渡行セシ銭名面ニ永楽通寶ノ字アリ 将軍足利義満 明国ト交通シ 此一文銭多ク我ガ邦ニ渡リ通ク民間ニ通用セリ 畧シテ永銭 ト云ヘリ 銭質良好ニシテ永銭一文ニ當時通用セシ他ノ悪銭四文替ノ價格ナリシトニアリ 永銭代ヘテ算用セシ永代ト云ヘリ 又永楽銭知行 分銭ノ貫高ニ移リテ租米ヲ永銭ニテ代納セシアリシヨリ起レルナルベシ 畧シテ永高又永ト云ヒ知行永銭貫文ナドニ云ヘリ 永高ト云フモノ一貫文ハ後ノ十石ニ當ルト云ヘド 各地ニテ區々ナリ 四貫ノ俸ヲ俸ヲ基キ

房総志料ノ一ニ里見氏、永錢ヲ知行ノ割アリシニ一貫文ハ十石ナル由見エ、

夏山雜談（寛保）三、永樂錢知行「畿内近國ハ百貫ヲ千石ニ充テ遠國ハ八百石、七百石、六百石、五百石ニ充テル所モアリ畿内近國其外廣巨ニ運送タヤスキ故ニ木ノ價騰シ遠國僻地ハ運送難難ニシテ價ヤ賤シ

是故ニ國々價同ジカラズ」

女色 愛人 情人 女色

河井 平九ノ出ヒロノイトサマニシテ（ヒロノ）
華元ノ娘合三ニ、マタキヨリ云ニオハレヤ、シテ月ヒアリキイミジラセヲヌ和

男女ノ色恋ヲ思ハスルノ情 情人 色情・情愛 色恋・色事

熱海ノ湯ノ女「ヒロ好ミたんさをヌ」ト

イロコ・ヒロ・好色・情人・好色

想思ヲ人、

恋人（コヒビト） 情人

六帖ニ、女郎花色ニアルカ如ク下ニ秋ニ雄ヲ咲ケル

散木集中五「ヒロ人ノ親シキ人ニヨセテ」

婚交 色ヲ恋ル

[illegible]女ノ新シ中ノ日ノ朝日ノ中ノ「[illegible]」ノ[illegible]ニ行キテ来ル皆悉ニ仕ヘシム

いろ「侍廬」〔儀礼

天子ノ[illegible]詣闕[illegible]長ニ[illegible]ニ[illegible]所[illegible]ニ正殿ノ廂ノ板敷ヲ新

土殿トシ御簾ヲ敷キ簾ノ御簾、布ノ帽額ヨリ錫紵ヲ服セシ十三箇月

ヨカヘテ十三日[illegible]ニ文徳実録、一、嘉祥三年三月「皇太子下殿御宜

陽殿東庭侍廬」

地上ニオロシ

森むらや製

萬葉集ニ

櫂（棹）ヲ

カ行ヒ設ケ

ヲ[illegible]ニ[illegible]

中[illegible]ヲ[illegible]

之ヲ[illegible]アル

皆

音便

平安朝以

後ニ[illegible]テ

極メテ多クナレリ

ねんじん「音便」ハ[illegible]ニ太古ヨリ[illegible]神武紀神功紀ノ大御歌、神風、

神書ヲ加ヘ牛加是、加年保奴[illegible]

べき[illegible]ん、假名ハ固ヨリ無カリシ[illegible]

音便ハ発聲ノ便ニ従フモノニシテ

神代紀ニ火ノ力ヲ都牟ノ大力、

発聲[illegible]ノ多キニ[illegible]太古ヨリアリシヲ望ス、其外継体紀、如何ニ云フヲ

以ノ柯爲[illegible]皇極紀ニ[illegible]

言語ヲ口ヨリ発スルトキ、音ノ便好キニ隨ヒテ其音ヲ変ヘテ云フコト。但シ

一語ノ中、又ハ末ニ限ル

居ノ[illegible]ノ[illegible]ニ[illegible]ヲ紀ニ[illegible]

人事ノ忙ハシクナルニ連レテ[illegible]間ニ音便ハ遠ク物言ハレタリ紀ニ[illegible]

△鑑ゑ、ぜんか
みち、昭夜ん
べ、

子音、失セテ母音ノミトナルモノ。欲しきまゝ、ほしいまゝ、況して、まして、棒棗、はゞぼら、
久しく、ひさしう、同じく、おなじう、齊しく、ひとしう、
延音トテ音ノ延ブルモノ、給ぶ、たうぶ、葬る、はふる、八月、やつか、
促聲、急ト云フモノ。欲りす、ほッす、貴し、たッとし、引き下ぐ、ひッさぐ
鼻聲ニ変ルモノ。鍋の殿、かんのとの、橋守、はしもり、速ヒ、はやう、おそんばかる△
連聲トテ下ノ音ノ上ノ音ト混合シテ変ルモノ。善悪、ぜんあく、因縁、いんえん
連濁トテ上濁
約音トテ二音ノ一音ニ約ルモノ。搔き上ぐ、かゝぐ、蹠足、はだし、河原
かはら、其外、通音トテ母音ト母音トニテ言ヒテ言ヒ変ル皆音便ナリ

かゝ、ぎれ、搔雲、かき、ぎれ、稲ノ刈入レ時、分捕、オ
ヒボ、の、ヨリ拾ヒテ、海苔ヒロ、沖苔歌、早歌、女ノ財、霜月極月
ノ、ヒロ、ヒ
かゝ、さん　海苔ノ俗ヲ見ニ
かゝ、さん　海産物、海産物ニ同じ
かゝ、しき　搔敷、かきしき、ノ音便、かきニ敷ナル物、敷ナリ
飯菓、奥州ヲ器ニ盛ルニ為物トスル青葉、古ヘ葉ニ盛リシ遺風ナリ
又伝ヲ為ルニモ云フ　拾遺抄、註「魅地ノ浦ニアル濱木綿、大根ノかゝし
きニたとヘタリ」類聚雑要抄、一「上紙十ノ枚、搔敷紙ノ枚」調味故実、
鳥ノ別足ヲ包ムコト「下ノ折敷ナリ白ニ紅ノ紅梅檀紙、かゝしきノ葉ノ

海藻 後で解説

きんてんちくさ」唐丁字、改去品々事「鮑、海草、鰹、槙葉、鯛
桃花、生鰹、麦床、鮎、藤葉、雁、水草、鶴、蘆葉、鴨、蘆、鴨おしが
か、鶉、振笠、雲雀、地草、又蔦芝草、古之外為奥ヨヲス椿葉
ヲ敷クベシ」

かゝしでゝ「茅子泥」茅ヲ水ニヒタシ泥トシ壁低ニ塗リテ皮膚
ヲ高部ニ貼、音茅用トスベシ

かゝーしゃ「解社」結社ヲ解散スル

かゝーしゃう「海相」海軍大臣ノ異稱

かゝーしゃう「海床」

かゝーじん「海人」アマ

き「柵」「城」「垣」「塀」「構」ヲ「限リ」義、朝鮮ノ古語ニモ城ヲ邑ヲ
きとヒキ、垣ヲメグラシ構ヘ、内外ヲ限リタル天然、敵敵ヲ防ガ
ムガ為ノモノナリ、コレガ設置ヒタルガ城ナリ

神武紀、十六、「作城」注、「作城曰城田」垂仁紀、廿五、「積稲作
城其堅不可破此謂稲城」孝德紀、廿六、「治磐船柵」
(戦後)以備蝦夷」齊明紀、廿一「據已柵戦」万二十八
「筑紫ノ國ノ惣寺ル折ヘ城ヲ聞コエメス」

一年ヲ二分シテ金蓮皇極紀、廿六、「家外作城柵門傍作兵庫」

(三)職、職位「長手」手位「長手」

(五)連歌、俳諧ノ花ト、「春ノ手」「秋手」

海陽後ヶ部氏入

きんてんちくさり」唐丁南去、改ヲ品々手「鮑、
桃花、生鰹、庭床、鮑、藤葉、雁、水草、鶴、蘆葉
か、鶉、振笹、雲雀、地草、又舊芝草、古之外色
ヲ敷クベシ」
かゝしゞい「茅子泥」茅ヲ刈ル水ミコキテ泥トシ面
ノ高部ニ貼ル、音茅ノ用トスル也、
かゝーしゃ「解社」結社ヲ解散スル
かゝーしゃう「海相」海軍大臣ノ異稱
かゝーしゃう「海床」
かゝじん「海人」アマ

き「柵城」「垣」「構」テ一限リ義、朝鮮
きゝこヒキ」垣ヲメグラシ構ヘテ、内外ヲ限リタルニ
ムガ為ノキヽリ、コレガ後遂ニタルガ城ナリ
神武紀、十六、「作城」ヲ注ニ曰「城田」垂仁紀
「城其堅不可敵此謂稲城」孝德紀、十六
(継後)以備蝦夷」齊明紀、十一「掾」ガ
「筑紫ノ國ニ令ル折ヘ城ヲ聞コシメス」
一年ヲ二分シテ金基皇極紀、十六、「家外作城柵」
(三)職ヲ職候「長事」事任事節
(五)近歌、佛法ヲ蔑ロ、四時ノ景物ヲ詠ジ

き 郵

(二) 四時ノ季ハ月ニ陸離ス 正三七十月ニ四孟トスル 四仲トスル家ス

季秋季冬ニ於テハ廣韻、季、末也 四時之末月 (二五八十月ニ)

義解、季末、四季之末月 (今十七「季末」)

(三) 俗ニ春、夏、秋、冬ノ四ツノ一ツ 稽合シテ四季ト云フ 群書治要、一

「四季 猶、四時 開花、秋紅葉」

(三) 又俗ニ、五月ニ合シテ五ツノ後 一年ヲ一季トスル 半年ヲ半季トスル 或ハ

一年ヲ二分シテ 金暮二季ナドトスル 或ハ四分シテ四季六季ナドトスル

(四) 時ノ時候「夏季」「季節」

(五) 連歌、俳諧、茂白ニ 四時ノ景物ヲ詠ズルニ「春ノ季」「秋ノ季」

（接尾語）

き 寸（八切ルノ語根）（変化語尾）段（意）人畜指ノ

程中ノ二竹昂ノ間ニテ度リ孔語ナルベシ 咫 尺ノ語原ヲ併セ見ヨ

（二）上代ノ度ノ名、凡ソ後ニ云フ寸ナドナルベシ

景行紀十二年十月、「百厚一尺五寸」

皇極紀二年八月、「溝漬之流水復凝結、厚三四寸」

孝徳紀、大化二年正月、「絹、廣二尺半（五寸）」

（三）此語、高麗尺、唐尺、渡リテヨリ寸ノ稱ヲ馬ノ高サ

度ル 中道ヨリ馬ハ 木 滑 四尺ヲ馬長

ト云ヒ以上ヲ一寸二寸七寸八寸ナドニヒユレヲ超ユルヲ長ニ

重ルトニテ（今日ニテハ五尺六尺ノモノモアリ）

錄ノ長サ

チきるガトニテ

ハ二文五分ニ

テ寸ナリ

長レバ

量ノ名ヒ

「引出物」ハ侍従ニ、サマ〴〵ノ斑ノ馬ノたけ、きバカリ云ヘ、少将ニハ

字抄「すき、馬長サ

空穂、吹上下「黒鹿毛ノ馬、たけ、七きバカリ」

詞花「秋ノ逢坂ノ杉浦ノ月ニナリ

矢島草子「丈、七きバカリニテ真黒ナル馬」

塵添壒嚢抄、三、馬足事「馬ヲ一寸二寸上ニ云フ云ヘ馬尺トモ云ヘ八四尺ヲ定メテ其上ヲ一寸二寸云ヘ七寸ハ寸ト云フ八寸ニ餘ルヲ長ニ餘ルト云ヘ四尺ニ足ラヌヲ駒ト云フ是曲尺尺也」

本

「後尾」布ニ一常ト云フ記アリ（「すき」語源ヲ見ヨ）

「匹」匹ハ切ヲノ語根ニ（布帛ノ）係ヲ併セ見ヨ

裁ノ意ヨリ

布帛ノ長サニ云フ語、匹ニ同ジカルベシ（詞花三、秋、逢坂ノ杉

夫木抄下、

後撰、秋下「裁きトモエコソ見ワカネ秋山ノモミヂノ錦」

ニヌテレバ（裁ハれば）カタ

定見集、霧立チテ紅葉ノ木ドモ隠セルニ「色々ノ錦ヲ裁テ残レル」（「裁きトカ見ム」（霧立ヲ切裁）

古有謂「不」山高四数元須匹

邪遇既而歌曰云云

（接尾）馬ヲ数ヘル語、匹。

き　匹（ヒキ）ニ一き（ヒキ）ハ一疋（ヒキ）ノ約、幾き（イクヒキ）ハ幾疋（イクヒキ）ノ約ナル（シ）（旅人、たびと、タビヒト土、つぢ）匹（ヒキ）ノ條（馬）ニ説キ見ヨ

雄略紀、十三年三月「馬ノ耶部擬（ヤベノ）惜（オシ）ケクモナシ」（八匹（ヤツキ）ノ八尾、八代ト三ツ語ニモアリ擬ハ漢音ぎ、呉音げナリ）（バカリ、意ナリトモ云フ）詞花、三、秋「逢坂ノ杉間ノ月ノナカリセバ幾き（イクヒキ）ノ駒トイカテ知ラマシ」夫木、十八、冬「行キヤラデ雪ノ屋根ト見ツルナナ一き（ヒキ）ニきノ駒ニマカセテ」神代紀、上十「三王於」

（接尾）

火神斬遇突智之生（カグツチ）

母伊弉冉尊、見焦而化去子時伊弉諾尊恨之曰唯以一児替我愛之妹（ハヤ）「古事記、上、「子之一木子」私記「古者謂木為ハヤ」山彦冊子、一、火神ヲ憎ミタマヒテ獸ニ比

シテ子ノ一ヒトツ匹バカリニ易ヘタリ意ナリトアリ

きうーきょく 【九棘】〔棘ハ木ノ名ニシテ、オドロ。支那ノ外朝ニアル木ナリ起ル後、次ノ出典ニ見ヨ〕

〔棘〕ノ字ハ(公卿)ノ異称 三公ヲ三槐ト云フ對ス 又棘路トモ

云ヒ、文字読ミテ おどろのみちトモ云フ 運命造作移動 前ノ河

字典「九棘外朝也」礼記、王制 史以獄成告于正 正ハ大司寇 聽

之棘木之下」註「左九棘ヲ孤卿大夫位焉、右九棘ヲ公侯伯子男位

焉」後漢書盛裏沈廿九、三箇馬場敷書「恣凌奪、三公ヲ九棘之

臣下」平家四、南都焼「群、帝、侯ヲ皆棘路ニ歩ミ入ル」(清盛)

○ ○ (ヲ ヲ ヲ)

△後漢書逸紀伝、紀ノ上書「群賢使三槐九棘議臣邪度」

○男ヲ、或ハ碁盤ヲ奪クシ或ハ羽林ニ連リ、女ヲ、或ハ中宮職ニ備ヘリ、或ハ准后ノ宣旨ニ蒙ル○

（世人ヨリ救世主ト称セラレテ出現セル人物）

きうせいしゅ　九星術ハ支那ニ古ク河図、洛書ニヨリ二図ヲ各、中央周囲ニ
星點ヲ配ス一點九所ニ列點三列點ヲ九列點ニ並ベ図ヲ数理ニ組ム
コレ　白、二黒、三碧、四緑、五黄、六白、七赤、八白、九紫ノ九星ヲ九日生ト称シテ
コレヲ方位、五行、干支ニ配当シ其相生相剋ノ理ヲ推シテ
其年歳人ノ其年、其月、宮ニ当テ、運命造作移動ヲ判断ス
等ノ吉凶ヲ判断ス是レ九星術ヲコレヲ行フ人ヲ九星家ト云フ
きうせいしゅ　救世主　異教徒ノ人。耶蘇基督ノ稱号
きうせいぐん　救世軍　耶蘇教救世主ノ教ヲ軍隊組織ニ
因テ孔メテ貧者ヲ救フ団体

[illegible]

[illegible]

[illegible]

本稿
国語

きうーたい　[裘代]（法衣ハ隠者ノ服ナリ、ソレニ代テ衣ノ意トスル歟）

僧服ノ名、法皇及ビ諸門跡、禁内ニ着用セラル　俗人ノ直衣ニ当ル、絵ヒタウ

ハ普ノ僧衣ノ如シ下ニ指貫ヲ用ヒ　公卿法体ノ人、　綾文平絹ヲ用ヒテ

甲　法体裝束妙音院殿ノ二年四月廿七日「室町殿ノ裝束」　裝束、長袴、厨子目綾、又平絹、俗ノ直衣ノ調様ニ　法皇、十善ノ業　八葉其外ハ

茶ヲ又不用、白裏ヲリ縫ヒ　文法皇、竹園ハ菊

乙　平家、三法皇御遷幸、「静憲法印ハ」ノ逃ケ出ニ裘代ノ袖ヲ踏ニ押当テ泣ヲ

御前ヘゾ参ラレケル」　吾妻鏡、五十、文暦二年二月廿七日、秋歌御会始「古大納

（真継）

裘代ノ袖ヲ踏ニ押当テ泣ヲ

俗人ハ袈裟（直衣）の上ニ袈裟ヲ着用セリ　指貫ニ着用スト云フ

10

きくづくりのたち　菊作太刀　刀ノ中心ニ菊花ノ章ヲ銘ニ切リタル太刀　院内ニ月番ヲ定メテ

後鳥羽天皇、刀工備前福岡、則宗等数人ヲ召シテ鍛ヒサセタ

ル、親シク焼刃ヲ加ヘ給ヒ　菊の御作、菊作、御所鍛ヒナドトモ云フ、則

宗ヲ助宗、銘ニ一字ヲ加ヘテ如ク、菊一文字トモ云フ　尺素往来「後

鳥羽院番鍛冶諸作、以菊為銘」

公卿補任、十月、殿上宴「菊花ノ宴」　菊花ノ九月九日ニテ

又殿上の宴トテ十月ニ行ハレシ也

空穂、菊の宴「霜月ノ朝日ニ、のたまきくつるむ間ニ名

ヒ」

年中行事故実考、十、十月、殿上宴「菊花ノ宴」　菊花ノ九月九日ニテ

前　後

前　後

きくの宴

「菊宴」（きくのえトヨフ）約メテヨフナリ　垣下、えが、一獻

舞（ブ）、えび

陛（ヘイ）下九月九日重陽（チヨウヤウ）ノ日ニ設（モウケ）タ観菊ノ御宴、酒盃（サカヅキ）菊

花ヲ浮ベテ飲ム。きくのえトモヨフ　御足日ナドニ丁（アタ）ル時ハ翌

月ニ行ハル。コレヲ残菊ノ宴トヨフ、

公事根源、有、残菊宴、「昔、菊花ヲンハ九月九日ニテ

又残菊のえんトテ十月五日ニ行ハレシ也」

空穂、菊の宴、霜月ノ朔日頃、のたまふきくのえむ聞こ召

（シルシ）

会中行事故実考、十月、残菊宴、「菊花ハ九月九日ニ節

トテ故重陽過キヌレバ殘菊レニアナリ

『新恒集』「延喜六年十月九日更衣タチ菊の宴シタマフ」

空穂國譲上「九日云ヒキ、その元ナレバ参ルベク侍リ」

清正集「十月十四日 坪ノ前栽ノ菊の元ニ」(歌)

東文ナ

壹

四百の十七

きゞげん 機嫌(著直、機嫌ト書ケド謙嫌ナリ音通ノ用字ナルベシ)

人ノ氣受ノ意ニ機ヲ見ル意ニ

(二)人ノ謙リ嫌フコトヲ後漢書、馬嚴傳、明德皇后賜ヒ嚴乃閉門自守猶復慮致譏嫌遂徙北地斷賓客」佛教ノ戒律ニ謙嫌戒トヲアリ世ノ嘲罵ヲ受クルガ如キ事ヲセザラシムルナリ 大乘起信論「當ヲ護譏嫌不善令衆生安堵過罪」楞嚴經「誹謗比丘惡言徒衆訶責不避譏嫌」

(三)人ノ謙嫌ヲ忘ルヽ意ニ外ニ心ノ

長門本平家、六、「今一度君ヲ見マヰラセント存候ハヾ推參仕ル候」十訓抄、中「腹立ケル時強ク制スレバイヨイヨ怒ル云ヘ、然レバ機嫌ヲ憚リテ腹ハラカニ諫ムベシ」

ききき

石姫

君幸君ノ異名なり（君あき、稲置も稲君ナラム）君ノ召スハ幸ナル意（玉篇、幸、御所親愛也）きさいト云フハ音便ナリ（遠埴、きさいの柳器、やなぎばさい）

天皇ノ御妻。スベテ御寝ニ御スル方々申ス　古ヘハ御妻ノ数柱オハスル中ニ特ニ最上ナルヲおほきさき（大后）

[illegible]ト申シ[illegible]キ事ヲ後ニ申ス皇后ニオハシマス。音便ニ。きさい。皇后ト申スハウナリテ後ハ大津母ヲおほきさきト申ス、即チ皇太后ニオハシマス。（妃ノ條ヲ併セ看）

宇鏡サイ五　妃、支佐支

神武紀、己未年九月「納媛、稚媛五ヶ人ヲ以テ媛命ヲ為ス正妃」

辛酉年、是歳「薄氏姫為皇后」

重祚、十年十月「辛酉朔、授命為皇后、以皇后弟之三女

倉姫」

古事記中（神武）十「求為大后之美人」（同巻）十「嬪后伊須

気余比賣」（同巻）「皇后日皇大后」（追記）

紀請継元年正月

古事記中（仲哀）六「大后息長帯日賣命」（神功皇后）

方二十三「天皇聖躬不豫之時大后奉御歌云」（天智天

皇）「皇后倭姫王」

紀元年正月「皇夫人」「夫人」

多武

古今、一、春、上「寛平御時きさいの宮の歌合の歌」

「源氏物語、「ミかどきさいの宮」オキツルマ…」

伊勢、…あづまくだりの日記、いの宮（皇太后）

きしゃうぐん　鬼子母神　又、訶梨帝母。仏教ニ女神ノ名。天女、宝冠ヲ戴キ

足ノ両側ニ孩児ヲ立テ、両膝ニモ孩児アリ、左手ニ一児ヲ抱キ、右手ニ

吉祥果ヲ持ツ。多クハ、祈レバ、子ヲ授ケ、又ハ、病癒ユト云フ。此神、初ハ人ノ子女

ヲ食ヒシト云フ。南屏蓋抄（文化、南山和尚）下「此ニ悪賊ト云フハ、鬼子母ノ、

釋尊ヨリ受戒前ノ悪名ナリ。受戒後ハ、歓喜母ト称スベシ」

きしゃうづき　紀請継（紀請文ヲ書クニ、白紙ニ前書ヲシ、牛王ノ紙ニ誓

詞ヲ書キ、コレヲ継ゲニ、牛王ノ奥ニテ、白紙ノ上ニ重ル（真文雑記、五）牛王ニ、神明

名アレバ、恐ミテ、カナ、ナル也）紙ヲ糊ヲ継ギ合ハスルニ、次ノ紙ヲ前ノ紙ノ上ニ重ネテ継ケ、

切紙創業調進法則（曲直瀬道三）「きしゃう（ぎ）ニナラヌト云フ心ナリ」（松屋

筆記、六十四、第五巻）

継方

きしめん「碁子麺」点心ノ菓子ノ名、小麦粉ヲ水ニテ固クネリテ、板ノ上ニ薄ク伸ベタルヲ、細ク竹筒ノ如キ口ニテ、押シテ切レバ、其名ノ如ク切レテ、煮テ黄粉ヲ衣ニカケタルモノ、（拾遺愚問賢抄）

毎々隨身（又政）ニ「伊勢屋張手」今モ胡麻ノ

庭訓往来、十月「碁子麺」尺素往来、点心「碁子麺」

松平文庫之印

きしたがう「起請」（後漢書、劉盈子傳「其誣不知書者起請」

（二）事ヲ誓起ニテ証書ニ請ト願フコト。

続後紀、十二、承和九年八月丙子「太宰大貳藤原朝臣

衛上奏、四條起請、一曰云、（四條共ニ改メテ請ノ字ヤリ）

三代実録、十七、貞観十二年二月廿三「太宰大貳藤原朝臣冬緒

進起請四箇条、其一曰云、」（同上）

（三）特ジテ神仏、七生ニ誓フニアラン、此誓ヒヲ背カバ四計ヲ請ト奉ルト。其

起ヒタルヲ起請文ト云ヒ、誓ヒヲ又ハ

継ギテ神仏ニ其文書ノ末ニ牛王ノ紙ヲ

本紙ニ起請前書之事ト云テ、起意ヲ記シ牛王ノ裏ニ、右之条々相

誓紙ヲ起請文ト云ヒ、極メテ医ノ誓ヒヲ

ニハ幾枚ヲ書キ

ケリ法華上人ノ一枚起請、土

佐房昌俊ノ七枚起請ト云フ

指一者梵天帝釋四天王日本國中大小神祇別而伊豆箱根兩所權現
三島大明神八幡大菩薩神四討伐[illegible]
如件ナドセ[illegible]ヲ例トセリコレヲ神文ト云フ

△十三日、上、第四、雅縁阿闍梨、[illegible]慈恵僧正ヲ潅行内供ノ人
タル由聖裏ヲ申シタリ[illegible]慈恵[illegible]
[illegible]其詞曰「若シ破戒無慙ニシテ天台座主ニ任セ
ムト云ハバ恐クハ仏法ヲ滅ス[illegible]
コレニ依リテ今三宝ニ向ヒ奉リテ此事ヲ披陳ス」

十五日、十一、義経、[illegible]「数通ノ書キ進ズトイヘドモ尚必ラ
[illegible]
御有免ナシ」三社青蓮、義経、数状ヲ奉ル「以諸神諸社牛王宛
[illegible]日本國中大小神祇冥道「雖数通
起請文猶以無御有免」

書ニ進

ぎせい「犠牲」（説文「犠、宗廟之牲也」）牲、牛完全ナル也」

（二）イケニエ。

（三）自我ガ身命ヲ国家ニ捧ゲテ其利益ヲ謀ルヲ身ヲ犠
牲ニ供ス[illegible]国利民福[illegible]人生ノ道[illegible]
（三）必用ナル場合ニハ利益ヲ[illegible]「多少ノ不便ヲ犠牲ニ供ス」

指者梵天帝釋四大天王日本國中大小神祇別而伊豆箱根兩所權現
三島大明神八幡大菩薩諸神冥討眞言討一切魔業者也仍起請文
如件ナドセヨ事ヲ仰ドヤリニヲ神文ト云フ

△ 背傳而署名

[illegible]

平家十二義經熱狂「数通ノ書シ進ストヘレモ尚必ラ
[illegible]
御有免也」云者賞義經数状ヲ奉ル「以諸神諸社牛王
印之裏不捺野心之者奉請罰日本國中大小神祇冥道雖数通
起請文猶以無御有免」

書進

ぎ、せい「犠牲(説文「犠宗廟之牲也」)牲、牛完全也」

(二)イケニエ。

(三)自我ガ身命ヲ國家社會ニ捧ケテ其利益ヲ謀ルヲ身ヲ犠
牲ニ供ス是ハ國利民福落ニ人生ノ道ヲ辿キ條件トス

(三)必用ナル場合ニハ利益ヲ棄テ「多少ノ不便ヲ犠牲ニ供ス」

[illegible]

平家ハ木曾最後「本曾殿ニ日ハ何トモ思ヒ給ハ重ク
[illegible]
[illegible]

きせ・京が「着崎長」（きせ、居崎、着、侍者、今、着、崎長、意トスル、平
家、十二、土佐坊切れ「判官（義経）ヲ、ハ、ニヲトテ、太刀取出デヌ、ヘバ、
靜、着崎長、取ッ、投、ケカケ、奉ル」長ハ、草摺ノ長キヲ義トスル
鎧又ハ具足ノ敷揃、大将ノ着ルニツキテ云フ語（軍器考）ニヲ御
執（太刀ヲ御伴ト云フ類ナリ）（小具足取ラツケ勝巻着テ云ヒ入道殿、
盛衰記ノ「北教訓」「入道殿（清盛）着崎長（きせながき）被召候（タリ）」
平家ノ木曾最後「木曾殿ニ、日比ハ何トモ思ヒ給ハ、鎧ガ今日、重ウ
サウダルハヤ、今井四郎、云ヒ、何ニ、仰テ、着崎長ヲ、俄ニ、重ウ、思ヒ給ヒ候ヲ
ハベキ」本平記「上山計死「師直ガ着崎長（きせながき）、牧（同じ）毛ノ鎧ヲ、二領ヲ
（院政）「着崎長（きせながき）、甲冑」（傳人ノ着

彭祖ガ菊ヲ服シテ長寿セシ故

きせわた（着綿）キクノキセワタ、キクワタ。菊ノ花ニ綿ヲ被セ
ル者セタルモノ。陰暦九月九日ノ重陽（ハイニチ）ニ前日ニ着セテ、翌朝
取リテ、露ニ濡ラシ花ニ預ケ拭フ。老ヲ拭ト云フ。延年益寿ノ祝福トス
（菊ノ項ヲ見ヨ）

九月九日、書司（ショシ）ヨリ菊花幸「早見書司女官ニ居ニ
ケリ」ト書セシムト云フ。侍従ニ授レリ（菊ノ項ヲ見ヨ）

九月九日、書司献菊花幸「早見書司女官ニ居ニ
ケリ」ト書セシムト云フ。侍従ニ授レリ（菊ノ項ヲ見ヨ）

大花瓶各一口、差菊花ニ註、以錦掩花上ニ

忠見集、九月九日、菊ニ綿被ル「菊世ニ人ノ若元菊ノ上ニ綿（貞
綿眉）ヲヒロゲテ、露ヲ待ツカナ」侍撰。○○伊勢ガ家ノ菊ニ綿
ヲ着セニツカハシタレバ、又ノ朝、取リカヘテトテ」

新勅撰、七雷 九月九日、従一位倫子、菊の綿ヲ賜ヒテ、老拭ヒ

葉ヲトヽ侍リケレバ、菊ノ露、若エバカリニ、袖濡レテ、花ノ主ニ千代ヲ譲ラム」新六帖、「垣根ナル、菊ノきせわた、今朝見レバ、マタキ盛リノ、花咲キニケリ」

（第六部）

御湯殿記「九日、夜ニ入リテ、御殿南庭ニ菊花多ク植エ、其菊ニ、赤白、黄ノ染綿ヲ、丸菊花ニ作リテ、枝々ニツケリ」（白キニ黄、赤キニ白、黄ナルニ赤）

八月九日「稙菊ヲ於清涼殿之前庭、明朝日次記事（延喜）官女等、取綿、使蒙陛下菊花、是謂菊綿、又称衣綿ニ也」

△林逸第四 財宝 「亀足餅」

き〻く「亀足」（紙ノ端ヲ捻リオケバ、亀ノ足ニ似タル故ノ名ナリ）

（二）膳部ノ食物ニ、鳥ノ足、又奥肉ニ刺シタル串ノ本ヲ低ク巻キテ、其ヲ捻リオケモノ。指ヲ汚サズ、串ニスベ、焼鳥ノ方ヨリ刀目ヲ入レテ引キサケバ好キコロニ裂ケルモノナリ。脛ノ方ヨリ刀目ヲ入レテ引キサケバ好キコロニ裂ケルモノナリ。尾足ナシレテ添肴ナドニ出スナリ」調味故実（天文）「さめト云フハ魚ナリ。きゝくアルベシ」（三）折敷。折形。折櫃ナド、皆低ノ端ヲアラハシテ四隅ニ捻リオクモノ。△四條院庭訓書「世ノ常ノ俄ニ、竹泊ニテモ仕ニテモ引キテ、亀足ニ用ルコト、常ノ儀ナルベシ、禁中ナドハ別条。御折ハ角モ多ク、又少シ、足モ高クアルベシ、然ル間、亀足ノ低、薄様ナルベシ」香道味（天文）「大名、或ハ、御家門ナドノ食膳ノ菓湯ニ、もてなしニ結構ニ、木具、土器、金銭、鬼足、縁高ナド、然ルベキ

ナリ」又、蓋ナキ重箱ヤウノ物ニ低ヨ敵ヒテ、其低ノ取ヒザル間ニ、其端ヲ捻リオクヨモ、きそくト云フ、

（木強）ニ音便轉シタル語ナラン

（木強坊）

（木強）ヲ擬人ニテ、きそくん坊、きそくん坊、なんべし典太坊、よたんぼ（例）

（あそび）

（あそび）

（あそび

きそんばは「木強坊」（木強ヲ擬人シテきそん坊ガたべし共太坊、よたんば
ノ例、きそんさぶろう語尊ヲ尊ム」
年若クシテ木強ナルヿ、青二歳ト云ハガ如シ。
伊呂波三居（正徳）「近イ頃マデハきそんばノ人ノ痩肉デ其無藝ナ
無器用サ」

腹キタナシ。

きたーなレ　形ー「穢」（かたなし）（穢陋）ト直ズ其体ヲ見ル。山城國相楽郡、
佐加良加」ハ懸木ノ轉ヲ、堅塩、きたし、時間（かのま）
（二）カタナシ。ミニクシ。ケガラハシ。濁カラズ。
神代紀、上十三「醜メキ汚穢之國」（黄泉國）同巻四、特温雖身之所汚
枕草子、十二、「ものいときたなし」（マカリタリシ間ニきたなくべんぞ焼ケバ）
（三）腹黒キ、ウラロ、ウラシ。不忠ヲ。貳心
神代紀、上十「黒心」赤心」濁心」
續紀、二十六、「逆」稽心ヲ起シテ
ムトシテ」後撰、十三、「人欺ルヿ隔ハきたなくテ清キ諸ライガデ過ギナ
（三）卑シ。ミグルシ。卑怯ヲ、ツタナシ

佐名抄、五五

甲　天、天平神護元年八月汝
逆心ヲ以テ朝廷ヲ欺カシ傾ケ

十訓抄中「學問行ヒヲバセデ何トナク過グルホドニきたなき聞エサヘ出テ来
ニケリ」武將盛世記、三、長谷部義成漁夫「君、間近ク進退剛怯
ヲ御覽ゼラレ、ヲ黙々ノ迎ヒ参リテハ何ノ面目アリテ後、人ニ見エムヤ」

ギタリん「祇陀林」中印度、舎衛城ノ南ニアリシ祇陀太子ノ園林。頭字ヲ取リテ祇園ト云ヒ須達長者此地ニ精舎ヲ建テタルヲ祇園精舎ト云フ、須達ノ異稱ヲ給孤獨トモ云フ。給孤獨園トモ云フ。祇陀林寺又

（十五）

榮辰、疑「カノ須達長者ノ祇園精舎造リケムモカリヤアリケムト見エルヲ」

平家、祇園精舎「祇園精舎ノ鐘ノ聲、諸行無常ノ響アリ」

同、山川滅亡「昔、佛ノ法ヲ説キタマヒシ竹林精舎給孤獨園モ此頃ハ狐狼野干ノ栖ミトナリテ礎ノミヤ殘ルラム」

きたふ（化四）「鍛」（段ヲ活用セサカル語ナリ）（鍛ヲモ段ニ仮ル）折リカヘシ折リカヘシ長き時むもゝ（段むもり）或ハ堅ヲ活用セサカル（（三字）（穢し、かたくなし）、斬ル（敵ふせぐ）

堅むる意カ、歌ふ、頌ふ、敵ふ

（二）鍛ヲ火ニ焼キテ槌ニテ打ツ。キタヘ堅クス。ネヤス。ナヤス。鍛練ス。

宝鏡（四十四）金偏ニトノ字「支太平」（同四十三）金偏ニ羽ノ字「支太弘加祢」

史記抄（文明）十八「焼トハ劍ヲきたう時、焼キ入ルヲ入レ入レスルヲ云フゾ」

（三）慶「習ヒテ熟レヒ。練ル。修練「藝ヲ鍛フ心ヲ鍛フ」

きちじゃう 吉上 （雅言集覽に或云出雲ノ国ノ人ノ姓ト

云フ云フ ヨリ 又 平家、六、小督、「馬部」（じちぶ）ヲ伴キ アリ 良文 雑色 黄仕丁

九ベシ 黄色 無位ノ服色ヨリ 黄色ノ 特色 着ル下部ヲ 黄仕丁 数取名

物考、猶新、八、「給」ノ訓ヨリ 出ル ヨリ 日葉ト 借字ト ヲ ヲ ヲ イカ ヨリ

近衛府ハ「六府」ノ 兵部 左右馬寮ノ下 僕 従 従 従 従 従 従 従 従 従 従 従 従 従

朝文粹、三、「散楽没業生ニ 従 従 従 従 従 従 従 従 従 従 従 従 従

甲 北山抄、九、陣中式、吉上近衛候 門 上

禁秘抄下、所衆 滝口等有 名 下 殿 於 殿上 口 給 之 云々 結 吉上

百錬抄、十、「藏人忠綱 出 外 地 清光 兼 業 藏 人 有 喧嘩 事 依

年 年 年 元

大鏡、七、 道長、吉祥 返リ 来ル 其女ヲ 相 惜 （ヲ）

（ヲ）

（ヲ）

（

「続古事談、二、左兵衛ノ陣ノ吉上」

「著聞集、十七、変化、近衛左兵衛ノ陣ノ吉上」

「撰集抄、六、かゝる菩薩、陣ノ吉上法士仕ノ」

「今昔、廿九、狐人、馬司ノ馬多クリテソレヲ乗リテ吉祥ニ次ヲトボサセ先ニ立テ

「宝物集、巻五、小智、弾正忠仲国、召具シタル馬部吉祥ヲ二三人留メオキ彼家ノ

守護ヲサセ」

「隆信集、上、

賀茂和歌所

ヨリ人ニ奏ツリテ吉書奏ヲトテ、ウヒニシツリ

ホ敷ノ神代

ドカミ群レ

サル獺数

ニ入リメル」

きツ出ス日

「吉日書」「吉日ヲ撰ビテ改元ト御譲位代替

(二)歳首改元ト御譲位代替ニテ事ノ改マリタル時ハ改元ノ文書ノ吉書始ト云フ

又年始ニ政治上ノメデタキ文書ヲ奏聞スルヲ吉書始ト云フ

江家次第、十四、御譲位「蔵人等所物次、内豎奏時、次中宮

書」「吉書儀」元暦元年十月六日「新造ノ文所吉書始」「邦通卿書」

「吉書」「上海ノ建久四年三月ニ「始賢吉書」

「公事根源、中、「書儀」「吉日ヲ選ビテ大臣参リテ奏ス」

(三)近古、年始ノ吉書ノ吉書始ト云ヒキ旧暦三月其吉日ヲ記ス

庭訓往来、「吉書令選行吉日良辰」

（二）五月十日、仏蘭西ノ特使ヒ[illegible]

[illegible]十日ニ[illegible]

[illegible]

[illegible]十月六日「[illegible]」[illegible]

[illegible]十五、[illegible]

又[illegible]

（三）[illegible]

[illegible]十四日[illegible]

又左ノ如シ。二人相撲ヲ行フ。両手ヲ甲ヲ行フ。両手ヲ両肩ノ張左アリ上ケテ両耳ニ擬フルヲ狐ノ角ノ如シ。正坐ノ状ヲシテ両肩ノ張傾ノ両手ヲ両膝ノ上ニ支フルヲ庄屋殿トシ、左手ヲ前ノ伸ノ右肘ヲ張リ火縄筒ヲ構ヘ狙ヒ撃チスル状ヲスルヲ猟人トス。狐、庄屋ヲタブラカストシ、庄屋ハ猟人ヲ制ストシ、猟人ハ狐ヲ撃ツトテ互ニ其姿ヲナシ、勝負ヲ決ス。打出シハ先ヅ三度掛聲シ方、ナカラ三度手打ヲシテ直チニ打チ始メタリ。普通ハ三度勝負ナリ。

（三）又藤八郎ト云フ人ハ同ジ事ニテ全ク酒席ニテ行フモノナリ其ガ條ヲ見ヨ

（指先ニテ[illegible]ヲ[illegible]ト云フ[illegible]）

（[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ

きぬがさ「衣笠」（絹傘）義、きがさ即チ菅蓋ト別チテ云フ語、支那風俗来ノキノ上ニ立ツ絹張リ長柄ノ傘、天皇親王ノ用ヒ給フ者

左右ノ綱ヲ手ニ執ル者　執蓋者

後方ヨリサシカザシ

儀制令義解ニ皇太子ハ紫蓋、親王ハ紫大纈一位深緑三位以上紺四位

ハ縹ニ、階級ニ因テ四角ニ錦ヲ覆ヒ絳ヲ垂ルトアリ

字鏡ニ「傘、蓋也、支奴加佐」天治字鏡、四ニ「繖、支奴加佐」倭名抄十五

服玩具「華蓋、岐沢加散」大沙宮儀式帳「衣笠」

万、三十、久方ノ立行ク月ヲ網、刺シ吾ガ大君ハ蓋ニセリ

（三）天蓋、其條ヲ見ヨ　倭名抄十三ニ伽藍具「蓋、貫蓋、岐沢加散」

[illegible]

(三) 天[illegible]

[illegible]

明徳[illegible]

[illegible]

[illegible]

（云ヽ西年）
（明暦三年ノ江戸大火ヲ言ヒ）

きぬヲ召セ候」江戸時代ニテハ一種ノ服トシテ製シ袴ヲ前（三寸許下ゲ
横縫ト称スル。かつぎノ語音ヲ転倒シタルカ。かつぎハ三尺許ノ長方形ノ布ヲ
肩ニ掛ケ、洲濱形ニ畳ミ出ス（上略）隠者上ハ
ナニ物ニ隠ル、ヲ云ハ
（ヒキ）
（江戸ニテハ厚ク止ミシカ二年御ニテハ明治以後前ニテ行ハレキ、）
だから竹助より四方にハ程々横縫ス
言ひ愛集
雲居寄集「きぬかづきノヤウニ小袖ヲ上ニかづきて」（俗語考、さそど）
昔々物語（重任）「明暦ノ頃ニテハ針妙腰元かつぎヲ敷キ歩ケリ」△
後日男尊ヲ（正徳）「當代きぬかづき女ノさがヲ隠シテ首竹肩屋キモ裏
（エヽ）
（婦人笑覧、ヒ）
三膝栗毛（享和）上「水色ノ洲濱形ニ畳ミ甲ヲツケルヲ故実トス」
見た京物語（天明）「御所ノ袴ハだんだら竹肩、所ハ横縫ヨリ」

（三）
（結ト云ヒト。）
きぬ・きぬ「衣衣」（二）各自ニ着テ居ル衣服。
源。浮舟巻「屋ノ音セイトアラマシ、霜深キ暁ニオノガきぬぐ〻冷マヤカニ
ナリタル事コソチシテ、御馬ニ乗リタマフエド」
拾遺愚草、上、閑居百首、夏「春夏ハオノガきぬぐ〻、脱ギカテ、室
ネシ袖ハナホ惜シムカナ」
古今。恋、三「シノ、メノホガラ〻ト明ケユケバ、オノガきぬ〻ナンゾカナシキ」
愛眼ノ注本。結句「きるぞかなしき」トアルノヨロシカルベキ」（男女五ニ衣ヲ脱
ギカヘテ着セ性ヲ、ヒトシキ別ル、時、衣ガ別ニナル意
取カヘテ着キリ）
（三）前ノ古今集ノ歌ヨリシテ、男女相ニ別ル、羽ノ意トシテ、後朝ナド記
シテ、きぬ〻トヤ師兼卿千首「ミバントテ、袖引キトムル、きぬ〻ハアハレキ

知ラヌ、鶏ノ舞ヒ、聴キ聞クヽ空」ナド云ヘリ

紫一本（天和三年ニ水カネきのどくナ事）

きのどく（気の毒）「筆之毒」（心ノ害毒、心ノ煩悩ノ義、己ガ心ニ云ヒ他人ノ身ノ上ニ云フハ、いたつく、いたはる、などもしと、内外ノ二義アルガ如シ）

心苦キ、ビミ安ジ及ブ、筆ニカカルヽ心配

（一）（今ニ他ニ云ヒ此義ニ用ヒラル）

（関心傷心）

狂言記、文字大名ニ歌「是レクバ寿ヲ来ヲ」ニ白ヲ面キ落ヒテ「コレハ歌ヨウナ、何トニクキノデアラウゾ、きのどくナ事ヂヤ」（関心ノ事）

續狂言記、柑子俵、柑子ノ俵ヲアケテ盗ミ食ラフ「一ツ二ツト思ヒ、何トセウゾ、親ガ聞イタラ、可イトハ云フマイガ、ハテ、きのどくナ事ヲシタ」（心配）

寛文十二年三月、伊達亜蘭書状「沛老中ノ前ニテ云ヒ、何ト、田沢文、極申候故、老爺味ヒ、秘蔵」（原四）

（吉田兼右、系元）在仙書

候故、延々ニ罷成候、筆の毒千萬ニ候」（裁決ノ

近引ニ成ル（ニ成ル事ナリ）陸奥、仙台藩先代萩（天明江戸人作）頼兼、高尾
伴ヒ[illegible]、[illegible]、高尾ノ詞「殿様、コヨガ、モウ市屋敷、現ナイ
御姿デ、市家中ノ見ル目モ無キ毒、心ヲオツケアソバセ」（心苦シ）

（二）他人ノ身ノ上ヲ不便ニ思フテ（友達ノ病気ガ気ノ毒ト云ハバ自他共）
ニウケル、御ヲカヘテ大きのどくト云ヘバ人ヲ他ノ上ニ移ル　憐愍
狂言記拾遺、集山伏「私ノ弟ノ太郎ニ、殊外、ほうけウケテ、タゾウッ
カリトナリマシテ、ニ、沸祈禱ナレダサレ、ニ、」先達「ソレハ気ノ毒ナコト、
不便ナ事ぢャ」（山事ノ毒ノ毒ノ自他共ニ同様ニ解セラル）

（蝦夷ノ地ノ柵養蝦）

きゝへ「柵戸」古ヘ陸奥出羽越後ニ設ケラレタル柵内ニ土着セシメラレ
タル民戸ニ即チ屯田兵ナリ、柵陸奥ノ多賀城伊治城陸奥城等ニモ
皆柵戸アリキ三城ノ遺址、外郭周囲六七町
内ニ居住セシメ
住内ニ安置、其
就任田取歛米
越後信濃一之民
ニ同四年冬

「柵戸」續紀、二十、天平寶字元年七月「出羽國小勝村
柵戸」
九、養老六年八月「令諸國司簡點柵戸一千人
配陸奥鎮所焉」日、

近ヲ[illegible]ニ[illegible]ヲ生ジ[illegible]）院本、伽羅先代萩（天明江戸人作）頼兼、高尾
ヲ伴ヒテ[illegible]時、高尾ノ詞「殿様、ココガモウ市屋敷、現ナク
御姿デ、市家中ノ見ル目モ気苦ノ毒、心ヲオツケアソバセ」（心苦シ）

（三）他人ノ身ノ上ヲ不便ニ思フ（友達ノ病気ガ気苦ノ毒ト云ハ自他ノ間）
ニ云ル、御ヲカヘテ、おきのどくト云ハ全ク他ノ上ニ移ル）慇懃（心苦シ）
狂言記拾遺、集山伏「私ノ弟ノ太郎、云ニ殊外、ほうけもして、タゾウ
カウトナリマシテ、云ニ」浄瑠璃「ソレハ気ノ毒ナコト、
不便ナ事ヂャ」（此事ハ毒ハ自他ノ両様ニ解セラル）

（蛭夷ト云フ 柵ヲ設ケ蛭夷ト云フ）

きしへ 柵戸 古ヘ陸奥出羽越後ニ設ケラル 柵内ニ土着セシメラレシ民戸 郡ヲ屯田兵ヲ以テ 柵 陸奥ノ多賀城伊治城陸奥城等ニハ皆柵戸アリキ 三城ノ遺址 外郭皆七八町モアリ 柵内ニ居住セシメ
ヲリ 軍防令「凡東北縁辺諸郡人居皆於城住内安置 其
營田之所唯置屯戍者 出丁就庄田収穫
設置城堡」
孝德紀「沿鞍馬柵以備蝦夷 遂選蝦夷信濃之民
始置柵戸」 大化三年ノ頃 遂漸足柵置柵戸 同四年冬
續紀二十二「出羽國小勝村柵戸」

きゝのまゝなる「木丸殿」創リモセズ丸木ノマヽニテ造ル宮居。多クハ天智天
皇ノ御新朝倉宮ニ在ラセシ末ニ出ヒ給ヒシ神ナリ
神車歌、朝倉「朝倉ヤ十数ヒヤ、我カ居レバ名告ヲシツヤ行ク誰カ
子ガ行クヤ誰ト」（新古今雑中天智天皇御歌ヲ少シ変ヘタリ）
十訓抄一「天智天皇ノ御新宮ハ上座郡朝倉トヨフ所ノ山中ニ、黒木
ノ屋ヲ造リテオハシケルヤ、木丸殿トヨフ、丸木ヲ作ル故ナリ」

きゝかきかこいこゝろ（白）急々如律令

支那漢代ノ公文ニ趣意ヲ主キタル末ニ此旨ヲ記シテ急々律令ニ示シレタル

（意ヲ以ル為ニ語ル）

如クセヨトニフ後ニ陰陽家ノ厭勝符祈禱ノ呪文ノ末ニ用ヒテ悪魔

ヲ駆リテ遠ニ去レトニフ意トスル又武藝傳授ノ書ノ末ニ用ヒテ教ヘニ違フ

カレノ意トスル

聽雨紀談（明ノ都穆）「道家符呪、其末皆云急々如律令、云々、

急ニ如律令、漢之公移常語、猶宋人云符到奉行、漢賊張

陵、私創符付呪、以惑愚民、亦借用之、道家遂祖述之耳」

白氏文集（四十六）策林文「若三日之内一雨霑洽、是乾之雲、亦人之

事、礼無不報、神其聽之急急如律令」拾芥抄上本、曦時頌「休

息（急急如律令）（早いとめ此レトニフナリ）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

△或ハ城持ノ約トモイフカ

きみ　君（上ト通ズルカ（堅塩、またし、あからか、あきらか）倭名抄「在上ニ稱也」△ヤサギニ東イサヤ五郎ヤ[illegible]）

（二）風民ニ長ル人ノ稱、國主、元主、帝王。

箋注倭名抄、一九十四「君在上之稱也、岐美」。令、義解「君謂天子也」神代紀下十「瑞穂國、是吾子孫可王之地也」

敏達紀、十四年三月、自考天皇及彤陛下」

（三）吾カ仕ル人。主。主君。竹取「君ノ使ト云ム者ハ命ヲ捨テ、ヒヒガ君ノ行事ヲカヘムトコソ思ベケレ」（天仁三大伴御行ノ後者五位ノ侍リ）

（三）今敬キ主ト深キ味ヒ「夫君」兄君」吾ガ夫ノ君」源氏ノ君」

雄略紀「吾カ主大伴大連」

存文

(三)人の称ヒテ云フ語

古事記、上七十一「岐美ガ裝ヒヲシタフトクアリケリ」(豊玉姫ヨリ彦火火出見尊ヲ申ス)雄略紀、十一「吾カ主、大伴公」(河内左大臣ヲ云フ)

古今、十六、哀傷「君マサデ煙絶エニシ塩竈ノ浦サビシクモ見エワタルカナ」

土佐ノ日ノ月ノ「業平ノきみ」「吾カ夫ノ君」「淳和ノ」「父君」「兄」

枕草子……「公任ノ君」

『安法法師集』前和泉守源ノ君

きみ「君」(代名詞ヨリ轉ジタルカ後ニ、相方又ハ敵ナド云フ意ニ用ヒラレタリ)

遊女ノ異名、客ノ相手、相方トイフ意ノ話ナリ。

吾妻鏡、十、建久元年十月十八「於橋本驛遊女等群參有饗」

多賀物語、先是有沸連歌橋本ノ君ニ何カロタヌ(平、平景時、

又、杜川ノくれデ過ギバヤ」著風集、十六「家ノアルジハ遊女ニテソ侍

リケル云ヒ鳥帽子ヲバ君ガ枕ニトゞメオキテ」實我。祐經ガ屋形(行

きし事「手越ノ少將ハ左馬ノ尉ガ君ト見エタリ黄瀬川ノ愛鶴ハ備

前國吉備津宮ノ玉藻内ガ君ト見エタリ」異本洞房語園(貞享)

古草ノ御墓庄司基吉坂川ノ章「大御所様(家康)ノ御詠ニ其庄

「ロトヒヌハカノ基内ト云ヒし きみがてて(遊女ノ長)與ト御尋云ヒ(元和

君ガ爺

元年）立ちぎみ、辻きみナドモアハ此語ノヤリサガシルモノナリ

（元ハ諸国ノ其地ニ君トシテ治メシ者ノ官ノ如キモノナリ）

きみ（公）（郡別ト呼ビシ者ノ如シ）

（にのみやつこ、ヲ見ヨ）

（ハ加姿祢ノ頁ニ出ル）

猴女君ノ如キモノナリ

初君ト称シ後ニ姓ヲ三段ニシテ元ノ名ノ下ニ

姓氏録左京神別ニ君巳心

神代紀上ニ月弉尊

（月弉尊）

天平宝字三年十月「天下諸国ニ著君字者換以公字」

松の葉（元禄）一葉手「我等ヲ」

似勢物語（寛永）「男、傾城ニ知音シテ元ニ終ニ知音ニ計ベシトテ」

イカニセム、長、かぶき武家ヲタヲヤヘル伊勢ニ申シケレドイサ（ヤ）寄セザリツ、」

読本、質古教訓七巻廻（元禄、近松作）「文ニ、花ノかなさまノ如ク」

きみ・さま

「君様」ハ逝女ヨリ起ル語ナル客ノ相方ニハ逝女ヲ君トシテ相方ノ男女、双方通ジテ云フナリ」

恋人（コヒビト）ノ敬稱、男女ヲ云フ、上畧シテさまト云ヒ彼ノさまナドトモ云フ

「万葉集（寛永）」「恋ノオミナリヤ皆法ノ道」君様ノ熱気冥醒ムレバ如来肌」「諸国巡踊唱歌（寛文）」紀伊「月ニナリタヤさまガ住ム閨ノ床ヲ照ラレタヤ」同志磨手「思ヒキラレシャ」モウ泣カシャンナ、さまノ悪路ハ薄ゴザル」

松の葉（元禄）一、葉手「我兼々さまニヤルレ、命、棄テウズモ！」

似勢物語（寛永）「男、傾城ニ知音シテ云ヒ終ニ知音離ルベシトテ、此男、イカニセム、云ヒかなさま、寄セタマヘト伊神ニ申シケレド、イヤサリ、寄セザリツ、」

院本、賀古教信七墓廻（元禄、近松作）「文云ヒ、花ノかのさまノ独ニ入」

アノサヽサマヘ
ゴッテンエー
ゴノカノサマ

カシ、マタセナシ」

（人家ニ畜ヒテ玩ト云ヒ）

（鮒金ト記ス）

きんぎょ　「天豆魚」赤ク美シキ斑アル小魚名花緋鮒　元和年中支那ヨリ泉州堺浦ニ渡ル（大和本草）緋鮒ニテ鮒種ト云フ（緋鯉ヲ鯉種ト云フ）鮒ニ似テ尾小サシ是レ魚種ノモノナリ　寛政文化ノ頃、琉球産ノモノ渡ルコレヲ琉金ト云フ体圓ク口小サク尾長大ナリ蛋長ト云フ　寶永ノ頃、阿蘭陀ヨリ渡ル蘭鋳ト云フ一名丸ク体圓ク鱗ニ肉瘤アリテ脊鰭ナシ　蘭鋳ト琉金トノ子ヲ阿蘭陀獅子鋳ト云フ形色優麗ニシテ七八分ノモノ長サ一尺五寸ニ及ブ　明治廿七年

頃布哇島ヨリ渡ルヲ出目金ト云フ眼球ノ飛出デタル蛙ノ如ク

東坡、錢塘詩「我識南屏金魚」江戸惣魔子（貞享）「金

（人家ニ畜ヒテ玩ト云ヒ）

（明治廿七年）

三十

以上四種ノモノヨリ変化セルモ多シ

魚屋、下谷、池、端、真鍮屋重石橋ノ」

松岸文庫

[金聲玉振(次、法典ヲ見ヨ)]

多クノ小成ヲ集メテ大成ス、集知ヲ收メテ全德ヲ成ス

孟子、萬章下篇、伯夷、聖之清者也、伊尹、聖之任者也、柳下惠、聖之和者也、孔子、聖之時者也、孔子之謂集大成、金、殷音、而玉、振之也、集註、金、鐘、而聲宣也、振、收也、玉、磬也、八音合奏ノ時、初ニ鐘ヲ撞キテ聲ヲ發シ、終ニ磬ヲ打チテ其聲ヲ收メテ樂ヲ終ヲ、譬ヘテ孔子ノ三聖ノ事ヲ集メテ一大聖事ヲ為セルニヲ

碧巖厳集、仏祖七十三則ニ馬大師ガ難法問ヲ裁決シタル話ニ、[illegible]

主振[illegible]出拾ノ鄉者アルヲ讃[illegible]歎シテ金聲玉振

きんぴらぶし　〔金平節〕浮瑠璃ノ一派ニ土佐節ノ浮ルリニ堺町ノ時

子ノ金平ト云フ怪力無双ノ壮士男ヲ假想シテ組ミタルヲ櫻井

秋景太夫（後ニ丹波少掾正信）ト云フ者二人ノ錦樽ヲ叩キテ拍子ヲ取リ

豪壮ナル異調ヲ語リ出シタル金平浄瑠璃、金平千人

切ナドト云フ外数ノ多キアリ〔岡清兵衛作多シ其頃ノ男達所如

ク金平ニ投ジテ大ニ行ヒタリ〕コレヨリ強キヲトコヲきんぴらト云ヒきんぴら

娘、きんぴら糊、きんぴら足袋ナドモ流行セリ　土佐節、草摺引、鬼ヲ茶

きんぴらぼん〔金平本〕金平節ノ語本（カタリボン）

きんぴらぼね〔金平骨〕扇ノ骨ノ太キモノ。

きんぴらむすめ〔金平娘〕荒々シキ振舞スル少女。テンバウハダ、オテンバ。

〔金平ノ假設ノ人名、坂田金時ノ子ナリトス〕

〔明暦寛文ノ頃〕

松の葉（元禄）長歌、春駒「コチノ所ノ子ナタハ意氣無モ張リモ強イ、きんぴらクンヘイ」六壬川（寛暦）十「金平ハ女ニアリテオモシロキ」

松屋筆記、七十、ゆ七條「金平娘云ヒ江戸ニテ元祭姫ヲきんぴらト云フ」

[illegible]「土佐浄瑠璃ノ浄瑠璃ノ作リ云ヒ世[illegible]金平ノ云ヒ今モ男メかん女ヲ人金ヲ[illegible]」

きゝなん「鬼門」（注、出典ヲ見ヨ）

陰陽道ニ、東北ノ隅、萬事ニ忌ミ避クベキ方角トス。

神異經「東北方有鬼星百室屋三百戸而其所石侵鬼曰鬼門」假名書略註「きゝなん、鬼門、凡ソ方位ノ四隅ニ門アリ[illegible]」

[illegible]

[illegible]所ニ三百鬼出入ス門戸ヨリ故ニ此方ヲ犯ス時ハ百鬼善ク世人ヲ殺害ス」叡岳要記、上「東塔縁起云、桓武聖主慶長國京ニ遷ヲ艮城ノ之時、雲峯寺ニ本都之丑寅ノ山登徑成鬼門之辺宮ニ當ル時大師自閑伽藍之基跡聖主深恃ニ叡山之護持」大猷院殿御實紀、五、寛永二年十月「大僧正天海ガ願ニ因リ忍

岡ノ北ヲ賜ハリ伽藍ヲ創建セントテ云ヒ忠岡ノ江城ノ鬼門ヲ云ヒ「長七堂伽藍ヲ経営シ国家安全武運繁栄ヲ祈ラムトソ聞エケル」

きゃうーか

狂歌（二）

狂歌。ザレウタ。戯言ニ詠ム歌。俳諧歌ト云フモノ是ナリ。漢詩ニモ狂歌アリ後ノ狂詩ニ似タリ

本朝文粋、一、夜行舎人、鳥養有三之絶句云、継以狂歌「夜行翁、夜々警火舊村中、叫曰火起彼誰何、云ヒ鳥養鳥養是汝姓、好以漁食屬羽林、云ヒ有三有三時乃名、宜改有三為無貳云ヒ」（白氏文集廿九、酔中狂歌ニ倣ヘルモノカ）

（三）一変シテ俗首トナリ狂歌ト云ヒ

平治、長田忠致尾州ニ逃レ下ル者、「忠致ガ宿ニ狂歌ヲ詠ミテ捨テケリ「世治ケユヘバ命バカリハ、キノ舟ヲ尋ネテコソ聞ヤマヒケレ」（忠致土佐岐守ニ任セラレ不足トシテ誅セラルベカリシヨ東尾張ニ逃レタリ）

(三)鎌倉時代ニ俳諧ノ連歌ヲ狂歌トモヒキ

井蛙抄六「後鳥羽院御時、柿本・栗本ヲ置カル、柿本ハ世ノ常ノ歌、栗本ハ狂歌」(かきのもと、條ヲ見ヨ)

(四)室町時代。モテ狂歌トモヲ人ヲ成ス

永正五年三月ノ狂歌合「今朝思フ日ヲ花ばかりニ貧乏ノ神代ノ春ヤ来ケルナル」江戸時代ニ唐長元和ノ頃建仁寺ノ雄長老ノ撰狂歌集、江戸ノ半井ト義良ノ上意狂歌集アリ安永天明ニ流リテ蜀山人ノ出テ風格豪放トナリテ盛ナルヲ極ムコレヲ天明(年号)ノ「ドンヤウナ難題ヲ出セテモ詠ムガ妙法蓮華狂歌集」世ノ中ニカ(蛇)ホド完ザキ物ハナシ

ゑんぶ(文武)トホッテ夜ヲ明ルズ」(東翁ノ歌)同時ニ専門ノ人百人ヲ(多クテ)

今ノ秀句縁語ノ如キ類モ行ハルルト

狂歌師ト称シテ

30 松本たかしの説

安房ノ小浜ニテ七夕ノ題目ヲ歌ニ出セリトテ

きゃうざく

警策ノ語ハ禅家ノ用ヒ来リシ言葉ニ(Q)かうざくトハ云フ都言ノ字ノ共音ニ

きゃうトかうトノ二音アリ(きゃうざく、又狂言ノ説)

(二)警策ノ用ヒ詩文ノ秀逸。(長元四三日ノ歌合、告家)

源ノ光ノ宴ハ「此度ノヤウニ文ドモ書キ、ざく二、楽、物ノ音ドモトトノホリテ」

(三)物ノ言ノ優レテ佳キヲ、又、かうざく。都言抜(臣ノ名)

空穂、花園、中三四 東宮ノ御事「アリシヨリモイトキヤうざくニ成リマサリタマヒニケリ」源ノ梅ガ枝十「ソコラノきゃうざくノ姫君多カ」

キヤうざくバ世ニ、キヤうざくバ

「同ノ東屋十二御心ハタ、イミジウかうざく。

オモオモシウケム」

△同ノ秋上、四十歌ニ、貢、イトうざくニ落出タサレケリ」

きゃうーけん「狂言」(一)狂言ハ「道理」(カナ文字)言、妄語

白氏文集七十一「世俗文字之業、狂言綺語之誤」

江談抄、三、雑事「公忠朝臣、俄被滅、歴二西三日一蘇生、告家

中一云、冷泉殿、我参内。家人不信、以為狂言、依涙甚懇切、祈

掬抉参内」

(三)戯言。タハレゴト、盛衰記三十四、佐々木賜佳嘆(国名)

「正直ニテハ長き馬ハマウカルマジカリケリト狂言ト云」(馬ハ高綱ガ馬

ヲ盗ミ出シ先ヲ)

(併)十要、内に妄語綺語アリ

狂言記ニ狂言ハ真言ニ

豊臣太閤ノ頃ハ再興シテ

来ル代ニモ盛ニ演技トシテ

狂言ハ中絶シテ

発ル所ハ室町時代ニ

きゃうげん（狂言）

自然文集巻十「世俗之業狂言特況之説」

（前條ノ（三）ノ戴言より移し換へ）

猿楽ノ轉ノ餘流滑稽ノ主ナル演ズル仮作

能樂ニ対シテ東南ノ仮トナリ

仕手ヲ式シト云ヒ脇ヲあど、連ヲまたあどトヲ通ハナド考フベシ

能ヨリ：古ニ狂言中ニ玄恵法印作トミヘモノ多シ

豊臣太閤ノ頃ニ再興シタルモノカ　狂言記ニ採ルニ其言葉

天正年代ノモノナリ　能ニ附屬シタル演技トナリテ

僧、道賊、婆婆、婆婆ナドヲ題ニ演ズ。口語ニテ演ズ。其詞章句ハ狂言ヨリ貴人、大名ニテ下情ニ通ゼシムル主旨トシタルモノナルベシ。初メ大蔵流諸流ノ最盛リシガ後ニ泉流ヲ生ジ三流トナリ此演技ヲ業トスル者ヲ狂言師トイフ

△應永十六年三月、天竺左衛門、唐右衛門ノ祇園ニテ興行ノ番附アリテ将軍義満ノ時、斯道家ニテ狂言興行ノ特ニ二人魁タリキ。

△タシニゴトノ事ハ仕組ニテ人ヲ驚カス。「一狂言仕組ニテ人ヲ驚カス」

△[illegible]景迹者、景像ハ猶言

△[illegible]

(三)[illegible]

(一)[illegible]

△[illegible]

きゃうげん 狂言（歌舞妓ノ初ハ念佛踊サレ寛永中猿若ト云フ者

猿楽ノ狂言ノ冠者ヨリ出テ道化ヲ演ズ　ものまね

抜

（見出）△△

（二）歌舞妓芝居ノ脚色。古史ノ素材ヲ採リテ虚実ヲマゼヘ目

（三時代狂言）

△前ノ世ノ出来事ヲ採リテ世話狂言ヲ作リ演劇脚色ニヨリ作リ

書ク業ニアル者ヲ狂言作者ト云フ。其素ヲ脚本ト云フ

（歌舞妓ノ高）

（三）歌素ヲ計畫シテ人ヲ謀ル者。ニヨリ作フヲ狂言ヲ書クト云フ

「狂言カイヲ（中間ノ者）ヲ騙ス」

△寛永中中村勘三郎。猿楽ノ狂言ノ太夫冠者ニ扮チテ道化振ヲ

演ゼシニ起ル語ヨリ出ルカノ俳ヲ見ヨ△

きゃうしゅく 景逐（考課令義解「謂景逐者景像也猶言

牧逐也」）ココロバセ。心底ヲ心得ル。官府ニ語ヲ審理スベキ意

ヲ言ム。天武紀下十年八月「凡諸選考選者能檢其族姓及

景逐（ココロバセ）有行考之」續紀九神護元年閏

按察使時頭貞猪藉悪其景逐奪二位祿焉」後紀の斎

元年五月「諸國牧宰之非事云々經過宮闕留連閭里量彼

景逐不可不責」万十二「高麗剱（拙）已之景逐（ココロ）カラ外ノミ

見ツヤ君ヲ恋ヒ又刺ナム」

きゃうでん（狂言）

（一）景清（能）

「景清ハ古ノ平家ノ侍ニテ、源氏ノ世ニナリテ、頼朝ヲ恨ミ奉リ、ナントカシテ、頼朝ヲ殺シ奉ラント思ヒ、日ノ宮ノ神ニ願ヲカケ、七日ノ間、籠リ居タリ。其ノ内ニ、夢ニ、日ノ宮ノ神ノ、告ゲ給ヒケルハ、汝ガ願ヒ、ナニトカシテ、叶ヒ難シ。ソノ故ハ、頼朝ハ、天下ノ大将ニテ、人ノ為ニ、天ノ助ケ、アリ。ソノ故ニ、ナニトカシテ、叶ヒ難シ。ソノ故ニ、ナニトカシテ、叶ヒ難シ。ソノ故ニ、ナニトカシテ、叶ヒ難シ

(三)特ニ推量、推察、案内ヲ知ラザル案内ト云ヒ、心中ヲ心ヲ(情)ト云フガ如シ

盛衰記三十六、鷲尾一谷案内「サテ其下ニ落堀、蒺藜ナド

ニテタリヤト問ヘバ、サル事承ハラズ御還近モ候(カシ馬モ人モ通ル

ベキ所ナラネバ、イカデ其用意侍ル(キト答フ」

[illegible]七下悔食者事「毒ト云ヒ夫ヲル事、[illegible]ル子細ソコ事ニ

[illegible]情ヲ[illegible]事ヲ申シツヽシ難ク候(一事ヲ申サバ解[illegible]

御還近アルベシ」山字和抄「還近、キウゴン」具林節用「還近」

吾妻鏡ノ承久三年六月十七日「佐々木[illegible]河事、偏依兼義引導世

還近為ニ知案内ト事進先ヲ之字」(島津本ニ[illegible]ル是ハ芸田勇兼

義佐々木信綱ノ甲字治川先進ノ多ヒニテ深淺ノ推測ナリ)

8

伽羅女冊子(寛政元)大坂新町丸屋重兵衛ニ小判デ歌ガルタヲ

ユニシヘ、[illegible]

練、云、乾、云、花車ニシテトノタヲヲ進上ナレドモ」

×甲陽軍鑑十三ニ「家康事ハ一文不通ノ人ニシテモ花車ナレヤ」

きゃしゃ　花者花重(過言ノ名ノ妙ナル)

(一)ハナヤカナルハデナルヲ云フ　[illegible]

さそろ物語(元和)「鬢ニハバカリナルガ三、五十人

六十人云、きゃしゃ　九花ノ色衣云、　華美

(同)　花ノ袂ヲ玉ノ裳ヲツラネ

(同)　「一回ニ袂ヲ大ヘ」。俳諧懸る集(明暦)「我ガ思ヒ君ガ姿ニカヲ

オキテ」小袖ヨリ玉モ　(白袋ヨリ)

イカ、カ　詠ニ千年ナレドモ　色ヲ通ス大鑑(延享)「女郎ノ奴僕

(三)姿ノ艶シクシトヤカナル　(情キナリテヤトアルベキ)」

昼雅ナ紬

昼流石日男冊子(正徳)「女房ノ御所方ニ表ヲ心セシトテ今ニハ[illegible]リアッテ、

ホテレクヽ云ヒ、ヨロヅニ[illegible]ル言物　(無用ナル)

(三)又ハ[illegible]ノ細ンヤカニ[illegible]　紬細　我衣(夏ノ)「貞享ノ頃地ノ石葉傘

ル(江戸巻)[illegible]ヤリ天井青低、細ク縁ヲトル」駿ノ[illegible]ル花(天明)「腰物

云、細身ニテ云、三分条ノ花色ナドニテ花ヲ者ニ巻ヲセ云」

ぎょのチャウチン「魚脳提燈」

魚ノ脳骨ヲ叩キヒラメテ火薬トシテ提燈、支那舶来ノモノ、半透明ニシテ白キ油紙ヲ貼リタルガ如ク屈伸セラレズ 奥魚燈

西湖志餘、二十「燈ニ出ル各色華燈ニ、蓋家富豪則有ル料絲奥魚」 升庵外集、九十六「江有魚其色正青ニ枕如琥珀ニ可以為燈」河南通志、十三「青魚出濟源、形似鱧而背青色、天啟中胥者煮拘之可以製器」 骨董集、上編下後

秋の夜長物語(寛政印作ト云フ)「ぎょのあうちんニ蠟入テ燈トシタリ其光カスカナル」 後花園院永享九年行幸記「御金所ノ西ノ馬道ノ軒ニぎょのあうち挑燈アマタ懸ケタル」 桂川地蔵記(弘治)上「奥脳燈挑、云ヒ瑠璃壺」

きりきり(副)軋ル(二)管弦・燭楽ナド巡リテ歩ス音ニ花ノ後利

菅家萬葉集ノ「雁ノ羽風ヲ寒ミ、はたおりめ笠ヲ巻ク聲ノきりきりト鳴ク」 盛衰記三十三、落行人々歌「扇ヲ引ツカヒクルヒラル、数目ノきりきりト鳴ル」(風土ヨリ) 史記抄(文明十八)「切歯、オクバヲきりきりトハキシリ天ヲ仰ギ」

(三)蛇ノ動クヒラメクヒラメク状、弓絃ノ強ク引キシボル状ナド 宇治拾遺、四、「斑ナル蛇ノきりきりトシテ居タレバ」 太平記、十二、廣有射怪鳥「二人張ニ、十二束二ツ伏きりきりト引キシボリテ」 猶強ナル

(三)きりきりト廻リ動ケト命ジタル後。トクトク。ハヤハヤ。「きりきりと」

(四)巻キ上ゲルガ如ク痛ム状 「腸ガ捩ル」 海外異談、五、「腸ガ捩ル」

キリシタン（切支丹）Christiano（基督教）ノ轉 初ハ吉利
支丹ト書キシガ將軍綱吉ノ吉ニ憚リテ切ニ改メタリト云フ（海録、二説ハ契
利斯旦ニ記セルモアリ）

室町時代ノ末世、葡萄牙國ノ日本ニ傳播セシ天主教ノ稱 天文
年中、葡萄牙人、我ガ九州ニ來リ、伴天連、以留滿ナドニテ宣教使
ヒ其教ヲ弘メ九州ノ大小名、其教ニ帰依スルモノ多シ 永禄中
京都ニ入リ 天正九年西班牙人ニ至リ加特盛ニ行ヒ 後日本者
吉ニテ禁ゼラレカド止アド遂ニ國内 江戸ニマデ及ベリ 慶長
中ニ至リ 禁令厳重ニ 其信者ヲ海外ニ放逐
（宗旨ヲ改ム） 其宣教使ヲ内國
聽ハル者ハ磔殺シ同志ハ全ク滅絶セリ

きりたて　切立ノ義　切立ニテ真直ニテ枝ナキ立木ノ意ニモアル

二　木ノ植込ナルヘシ

大貳紫「殿ノ東表ニきりたてヲコヒオキテ二三日參ラヌホドノ花ノ咲キタルバ」北山殿行幸記「寝殿ノ前ニ切立ノ松四本ニ藤ノ花ヲカク」

三　蹴鞠ノ庭ノ四本懸リノ樹木（條ヲ見ヨ）

迹庭秘抄「上懸車本儀ハ柳桜松鶏冠木此四本也云ニ又切立ハ榎木椋木モコレヲ用ヘシ植ヱガヒル時高サ一丈五尺ニ過グベカラズ下枝ハ烏帽子ノ附クホドナルベシ云ニ元德ノ昔仁壽殿ノ北向ノ御壺ニモ松ノ切立一本植ヘラレ侍リシ也」

㊐吾妻鏡、十七、建仁二年十月廿九「御所北御壺構ニ切立ニ皆敵

「用松」

蹴鞠ノ間要枝、切立事「切立ト桜柳松鶴冠木ナリ云ヘ

屋ノ近キ切立ノ屋ノ方ニ松ノアルヤウニ」

三 (三)鉞ム。

前「ハツリ」

決ム。

きり 他ニ「切斬」(一)放チ分ケ断ツ

(二)刃物ヲ当テ、刻ミ截断「彫キ」「截キ」

(三)隔カキル。限「日ヲ定メ」「限ル」「切付キ」「木ヲキ」

(四)終フ。果ス 終ラ「言ヒキル」「決ル」「思ヒキル」

(五)「個ヲキ」「縁ヲキ」

(六)「サキル」遮断「路ヲキ」

年限ヲキル 塞ギ隔ツ

(七)「ミチム」「潜「水ヲキル」

(八)「護ヲキル」

(九)横ニ過ギ「ヨコギル」「横断「行列ヲキル」

(十)面替ス。ヒリカヘル。ヒリカヘル。

(十一)骨牌ナド 混ゼ 改ム。ヒリカヘル

(十二)俗ニ、キメニム。スル。「正面ヲキル」「不知ヲキル」「三十ヲキル」「決ル」「聞ヲキル」

(ハツリ。伐ル。ニ通ズ)

切付ヲキル「木ヲキル」

（十一）

（八）

（九）

（十）

（十一）

（十二）

（十三）

（十四）

（十五）

（十六）

（十七）

（十八）

（十九）

（二十）

（二十一）

（二十二）

（二十三）

（二十四）

（二十五）

（二十六）

（二十七）

（二十八）

（二十九）

（三十）

（三十一）

（三十二）

（三十三）

（三十四）

（三十五）

（三十六）

（三十七）

（三十八）

（三十九）

（四十）

（四十一）

（四十二）

（四十三）

（四十四）

（四十五）

（四十六）

（四十七）

（四十八）

（四十九）

（五十）

（五十一）

（五十二）

（五十三）

（五十四）

（五十五）

（五十六）

（五十七）

（五十八）

（五十九）

（六十）

（六十一）

（六十二）

（六十三）

（六十四）

（六十五）

（六十六）

（六十七）

（六十八）

（六十九）

（七十）

（七十一）

（七十二）

（七十三）

（七十四）

（七十五）

（七十六）

（七十七）

（七十八）

（七十九）

（八十）

（八十一）

（八十二）

（八十三）

（八十四）

（八十五）

（八十六）

（八十七）

（八十八）

（八十九）

（九十）

（九十一）

（九十二）

（九十三）

（九十四）

（九十五）

（九十六）

（九十七）

（九十八）

（九十九）

（百）

（百一）

（百二）

（百三）

（百四）

（百五）

（百六）

（百七）

（百八）

（百九）

（百十）

（百十一）

（百十二）

（百十三）

（百十四）

（百十五）

（百十六）

（百十七）

（百十八）

（百十九）

（百二十）

（百二十一）

（百二十二）

（百二十三）

（百二十四）

（百二十五）

（百二十六）

（百二十七）

（百二十八）

（百二十九）

（百三十）

（百三十一）

（百三十二）

（百三十三）

（百三十四）

（百三十五）

（百三十六）

（百三十七）

（百三十八）

（百三十九）

（百四十）

（百四十一）

（百四十二）

（百四十三）

（百四十四）

（百四十五）

（百四十六）

（百四十七）

（百四十八）

（百四十九）

（百五十）

（百五十一）

（百五十二）

（百五十三）

（百五十四）

（百五十五）

（百五十六）

（百五十七）

（百五十八）

（百五十九）

（百六十）

（百六十一）

（百六十二）

（百六十三）

（百六十四）

（百六十五）

（百六十六）

（百六十七）

（百六十八）

（百六十九）

（百七十）

（百七十一）

（百七十二）

（百七十三）

（百七十四）

（百七十五）

（百七十六）

（百七十七）

（百七十八）

（百七十九）

（百八十）

（百八十一）

（百八十二）

（百八十三）

（百八十四）

（百八十五）

（百八十六）

（百八十七）

（百八十八）

（百八十九）

（百九十）

（百九十一）

（百九十二）

（百九十三）

（百九十四）

（百九十五）

（百九十六）

（百九十七）

（百九十八）

（百九十九）

（二百）

（二百一）

（二百二）

（二百三）

（二百四）

（二百五）

（二百六）

（二百七）

（二百八）

（二百九）

（二百十）

（二百十一）

（二百十二）

（二百十三）

（二百十四）

（二百十五）

（二百十六）

（二百十七）

（二百十八）

（二百十九）

（二百二十）

（二百二十一）

（二百二十二）

（二百二十三）

（二百二十四）

（二百二十五）

（二百二十六）

（二百二十七）

（二百二十八）

（二百二十九）

（二百三十）

（二百三十一）

（二百三十二）

（二百三十三）

（二百三十四）

（二百三十五）

（二百三十六）

（二百三十七）

（二百三十八）

（二百三十九）

（二百四十）

（二百四十一）

（二百四十二）

（二百四十三）

（二百四十四）

（二百四十五）

（二百四十六）

（二百四十七）

（二百四十八）

（二百四十九）

（二百五十）

（二百五十一）

（二百五十二）

（二百五十三）

（二百五十四）

（二百五十五）

（二百五十六）

（二百五十七）

（二百五十八）

（二百五十九）

（二百六十）

（二百六十一）

（二百六十二）

（二百六十三）

（二百六十四）

（二百六十五）

（二百六十六）

（二百六十七）

（二百六十八）

（二百六十九）

（二百七十）

（二百七十一）

（二百七十二）

（二百七十三）

（二百七十四）

（二百七十五）

（二百七十六）

（二百七十七）

（二百七十八）

（二百七十九）

（二百八十）

（二百八十一）

（二百八十二）

（二百八十三）

（二百八十四）

（二百八十五）

（二百八十六）

（二百八十七）

（二百八十八）

（二百八十九）

（二百九十）

（二百九十一）

（二百九十二）

（二百九十三）

（二百九十四）

（二百九十五）

（二百九十六）

（二百九十七）

（二百九十八）

（二百九十九）

（三百）

（三百一）

（三百二）

（三百三）

（三百四）

（三百五）

（三百六）

（三百七）

（三百八）

（三百九）

（三百十）

（三百十一）

（三百十二）

（三百十三）

（三百十四）

（三百十五）

（三百十六）

（三百十七）

（三百十八）

（三百十九）

（三百二十）

（三百二十一）

（三百二十二）

（三百二十三）

（三百二十四）

（三百二十五）

（三百二十六）

（三百二十七）

（三百二十八）

（三百二十九）

（三百三十）

（三百三十一）

（三百三十二）

（三百三十三）

（三百三十四）

（三百三十五）

（三百三十六）

（三百三十七）

（三百三十八）

（三百三十九）

（四百）

（四百一）

（四百二）

（四百三）

（四百四）

（四百五）

（四百六）

（四百七）

（四百八）

（四百九）

（四百十）

（四百十一）

（四百十二）

（四百十三）

（四百十四）

（四百十五）

（四百十六）

（四百十七）

（四百十八）

（四百十九）

（四百二十）

（四百二十一）

（四百二十二）

（四百二十三）

（四百二十四）

（四百二十五）

（四百二十六）

（四百二十七）

（四百二十八）

（四百二十九）

（四百三十）

（四百三十一）

（四百三十二）

（四百三十三）

（四百三十四）

（四百三十五）

（四百三十六）

（四百三十七）

（四百三十八）

（四百三十九）

（四百四十）

（四百四十一）

（四百四十二）

（四百四十三）

（四百四十四）

（四百四十五）

（四百四十六）

（四百四十七）

（四百四十八）

（四百四十九）

（四百五十）

（四百五十一）

（四百五十二）

（四百五十三）

（四百五十四）

（四百五十五）

（四百五十六）

（四百五十七）

（四百五十八）

（四百五十九）

（四百六十）

（四百六十一）

（四百六十二）

（四百六十三）

（四百六十四）

（四百六十五）

（四百六十六）

（四百六十七）

（四百六十八）

（四百六十九）

（四百七十）

（四百七十一）

（四百七十二）

（四百七十三）

（四百七十四）

（四百七十五）

（四百七十六）

（四百七十七）

（四百七十八）

（四百七十九）

（四百八十）

（四百八十一）

（四百八十二）

（四百八十三）

（四百八十四）

（四百八十五）

（四百八十六）

（四百八十七）

（四百八十八）

（四百八十九）

（四百九十）

（四百九十一）

（四百九十二）

（四百九十三）

（四百九十四）

（四百九十五）

（四百九十六）

（四百九十七）

（四百九十八）

（四百九十九）

（五百）

（五百一）

（五百二）

（五百三）

（五百四）

（五百五）

（五百六）

（五百七）

（五百八）

（五百九）

（五百十）

（五百十一）

（五百十二）

（五百十三）

（五百十四）

（五百十五）

（五百十六）

（五百十七）

（五百十八）

（五百十九）

（五百二十）

（五百二十一）

（五百二十二）

（五百二十三）

（五百二十四）

（五百二十五）

（五百二十六）

（五百二十七）

（五百二十八）

（五百二十九）

（五百三十）

（五百三十一）

（五百三十二）

（五百三十三）

（五百三十四）

（五百三十五）

（五百三十六）

（五百三十七）

（五百三十八）

（五百三十九）

（五百四十）

（五百四十一）

（五百四十二）

（五百四十三）

（五百四十四）

（五百四十五）

（五百四十六）

（五百四十七）

（五百四十八）

（五百四十九）

（五百五十）

（五百五十一）

（五百五十二）

（五百五十三）

（五百五十四）

（五百五十五）

（五百五十六）

（五百五十七）

（五百五十八）

（五百五十九）

（六百）

（六百一）

（六百二）

（六百三）

（六百四）

（六百五）

（六百六）

（六百七）

（六百八）

（六百九）

（六百十）

（六百十一）

（六百十二）

（六百十三）

（六百十四）

（六百十五）

（六百十六）

（六百十七）

（六百十八）

（六百十九）

（六百二十）

（六百二十一）

（六百二十二）

（六百二十三）

（六百二十四）

（六百二十五）

（六百二十六）

（六百二十七）

（六百二十八）

（六百二十九）

（六百三十）

（六百三十一）

（六百三十二）

（六百三十三）

（六百三十四）

（六百三十五）

（六百三十六）

（六百三十七）

（六百三十八）

（六百三十九）

（六百四十）

（六百四十一）

（六百四十二）

（六百四十三）

（六百四十四）

（六百四十五）

（六百四十六）

（六百四十七）

（六百四十八）

（六百四十九）

（六百五十）

（六百五十一）

（六百五十二）

（六百五十三）

（六百五十四）

（六百五十五）

（六百五十六）

（六百五十七）

（六百五十八）

（六百五十九）

（六百六十）

（六百六十一）

（六百六十二）

（六百六十三）

（六百六十四）

（六百六十五）

（六百六十六）

（六百六十七）

（六百六十八）

（六百六十九）

（六百七十）

（六百七十一）

（六百七十二）

（六百七十三）

（六百七十四）

（六百七十五）

（六百七十六）

（六百七十七）

（六百七十八）

（六百七十九）

（六百八十）

（六百八十一）

（六百八十二）

（六百八十三）

（六百八十四）

（六百八十五）

（六百八十六）

（六百八十七）

（六百八十八）

（六百八十九）

（六百九十）

（六百九十一）

（六百九十二）

（六百九十三）

（六百九十四）

（六百九十五）

（六百九十六）

（六百九十七）

（六百九十八）

（六百九十九）

（七百）

（七百一）

（七百二）

（七百三）

（七百四）

（七百五）

（七百六）

（七百七）

（七百八）

（七百九）

（七百十）

（七百十一）

（七百十二）

（七百十三）

（七百十四）

（七百十五）

（七百十六）

（七百十七）

（七百十八）

（七百十九）

（七百二十）

（七百二十一）

（七百二十二）

（七百二十三）

（七百二十四）

（七百二十五）

（七百二十六）

（七百二十七）

（七百二十八）

（七百二十九）

（七百三十）

（七百三十一）

（七百三十二）

（七百三十三）

（七百三十四）

（七百三十五）

（七百三十六）

（七百三十七）

（七百三十八）

（七百三十九）

（七百四十）

（七百四十一）

（七百四十二）

（七百四十三）

（七百四十四）

（七百四十五）

（七百四十六）

（七百四十七）

（七百四十八）

（七百四十九）

（七百五十）

（七百五十一）

（七百五十二）

（七百五十三）

（七百五十四）

（七百五十五）

（七百五十六）

（七百五十七）

（七百五十八）

（七百五十九）

（七百六十）

（七百六十一）

（七百六十二）

（七百六十三）

（七百六十四）

（七百六十五）

（七百六十六）

（七百六十七）

（七百六十八）

（七百六十九）

（七百七十）

（七百七十一）

（七百七十二）

（七百七十三）

（七百七十四）

（七百七十五）

（七百七十六）

（七百七十七）

（七百七十八）

（七百七十九）

（七百八十）

（七百八十一）

（七百八十二）

（七百八十三）

（七百八十四）

（七百八十五）

（七百八十六）

（七百八十七）

（七百八十八）

（七百八十九）

（七百九十）

（七百九十一）

（七百九十二）

（七百九十三）

（七百九十四）

（七百九十五）

（七百九十六）

（七百九十七）

（七百九十八）

（七百九十九）

（八百）

（八百一）

（八百二）

（八百三）

（八百四）

（八百五）

（八百六）

（八百七）

（八百八）

（八百九）

（八百十）

（八百十一）

（八百十二）

（八百十三）

（八百十四）

（八百十五）

（八百十六）

（八百十七）

（八百十八）

（八百十九）

（八百二十）

（八百二十一）

（八百二十二）

（八百二十三）

（八百二十四）

（八百二十五）

（八百二十六）

（八百二十七）

（八百二十八）

（八百二十九）

（八百三十）

（八百三十一）

（八百三十二）

（八百三十三）

（八百三十四）

（八百三十五）

（八百三十六）

（八百三十七）

（八百三十八）

（八百三十九）

（八百四十）

（八百四十一）

（八百四十二）

（八百四十三）

（八百四十四）

（八百四十五）

（八百四十六）

（八百四十七）

（八百四十八）

（八百四十九）

（八百五十）

（八百五十一）

（八百五十二）

（八百五十三）

（八百五十四）

（八百五十五）

（八百五十六）

（八百五十七）

（八百五十八）

（八百五十九）

（八百六十）

（八百六十一）

（八百六十二）

（八百六十三）

（八百六十四）

（八百六十五）

（八百六十六）

（八百六十七）

（八百六十八）

（八百六十九）

（八百七十）

（八百七十一）

（八百七十二）

（八百七十三）

（八百七十四）

（八百七十五）

（八百七十六）

（八百七十七）

（八百七十八）

（八百七十九）

（八百八十）

（八百八十一）

（八百八十二）

（八百八十三）

（八百八十四）

（八百八十五）

（八百八十六）

（八百八十七）

（八百八十八）

（八百八十九）

（八百九十）

（八百九十一）

（八百九十二）

（八百九十三）

（八百九十四）

（八百九十五）

（八百九十六）

（八百九十七）

（八百九十八）

（八百九十九）

（九百）

（九百一）

（九百二）

（九百三）

（九百四）

（九百五）

（九百六）

（九百七）

（九百八）

（九百九）

（九百十）

（九百十一）

（九百十二）

（九百十三）

（九百十四）

（九百十五）

（九百十六）

（九百十七）

（九百十八）

（九百十九）

（九百二十）

（九百二十一）

（九百二十二）

（九百二十三）

（九百二十四）

（九百二十五）

（九百二十六）

（九百二十七）

（九百二十八）

（九百二十九）

（九百三十）

（九百三十一）

（九百三十二）

（九百三十三）

（九百三十四）

（九百三十五）

（九百三十六）

（九百三十七）

（九百三十八）

（九百三十九）

（九百四十）

（九百四十一）

（九百四十二）

（九百四十三）

（九百四十四）

（九百四十五）

（九百四十六）

（九百四十七）

（九百四十八）

（九百四十九）

（九百五十）

（九百五十一）

（九百五十二）

（九百五十三）

（九百五十四）

（九百五十五）

（九百五十六）

（九百五十七）

（九百五十八）

（九百五十九）

（九百六十）

（九百六十一）

（九百六十二）

（九百六十三）

（九百六十四）

（九百六十五）

（九百六十六）

（九百六十七）

（九百六十八）

（九百六十九）

（九百七十）

（九百七十一）

（九百七十二）

（九百七十三）

（九百七十四）

（九百七十五）

（九百七十六）

（九百七十七）

（九百七十八）

（九百七十九）

（九百八十）

（九百八十一）

（九百八十二）

（九百八十三）

（九百八十四）

（九百八十五）

（九百八十六）

（九百八十七）

（九百八十八）

（九百八十九）

（九百九十）

（九百九十一）

（九百九十二）

（九百九十三）

（九百九十四）

（九百九十五）

（九百九十六）

（九百九十七）

（九百九十八）

（九百九十九）

（千）

（千一）

（千二）

（千三）

（千四）

（千五）

（千六）

（千七）

（千八）

（千九）

（千十）

（千十一）

（千十二）

（千十三）

（千十四）

（千十五）

（千十六）

（千十七）

（千十八）

（千十九）

（千二十）

（千二十一）

（千二十二）

（千二十三）

（千二十四）

（千二十五）

（千二十六）

（千二十七）

（千二十八）

（千二十九）

（千三十）

（千三十一）

（千三十二）

（千三十三）

（千三十四）

（千三十五）

（千三十六）

（千三十七）

（千三十八）

（千三十九）

（千四十）

（千四十一）

（千四十二）

（千四十三）

（千四十四）

（千四十五）

（千四十六）

（千四十七）

（千四十八）

（千四十九）

（千五十）

（千五十一）

（千五十二）

（千五十三）

（千五十四）

（千五十五）

（千五十六）

（千五十七）

（千五十八）

（千五十九）

（千六十）

（千六十一）

（千六十二）

（千六十三）

（千六十四）

（千六十五）

（千六十六）

（千六十七）

（千六十八）

（千六十九）

（千七十）

（千七十一）

（千七十二）

（千七十三）

（千七十四）

（千七十五）

（千七十六）

（千七十七）

（千七十八）

（千七十九）

（千八十）

（千八十一）

（千八十二）

（千八十三）

（千八十四）

（千八十五）

（千八十六）

（千八十七）

（千八十八）

（千八十九）

（千九十）

（千九十一）

（千九十二）

（千九十三）

（千九十四）

（千九十五）

（千九十六）

（千九十七）

（千九十八）

（千九十九）

（二千）

（二千一）

（二千二）

（二千三）

（二千四）

（二千五）

（二千六）

（二千七）

（二千八）

（二千九）

（二千十）

（二千十一）

（二千十二）

（二千十三）

（二千十四）

（二千十五）

（二千十六）

（二千十七）

（二千十八）

（二千十九）

（二千二十）

（二千二十一）

（二千二十二）

（二千二十三）

（二千二十四）

（二千二十五）

（二千二十六）

（二千二十七）

（二千二十八）

（二千二十九）

（二千三十）

（二千三十一）

（二千三十二）

（二千三十三）

（二千三十四）

（二千三十五）

（二千三十六）

（二千三十七）

（二千三十八）

（二千三十九）

（二千四十）

（二千四十一）

（二千四十二）

（二千四十三）

（二千四十四）

（二千四十五）

（二千四十六）

（二千四十七）

（二千四十八）

（二千四十九）

（二千五十）

（二千五十一）

（二千五十二）

（二千五十三）

（二千五十四）

（二千五十五）

（二千五十六）

（二千五十七）

（二千五十八）

（二千五十九）

（二千六十）

（二千六十一）

（二千六十二）

（二千六十三）

（二千六十四）

（二千六十五）

（二千六十六）

（二千六十七）

（二千六十八）

（二千六十九）

（二千七十）

（二千七十一）

（二千七十二）

（二千七十三）

（二千七十四）

（二千七十五）

（二千七十六）

（二千七十七）

（二千七十八）

（二千七十九）

（二千八十）

（二千八十一）

（二千八十二）

（二千八十三）

（二千八十四）

（二千八十五）

（二千八十六）

（二千八十七）

（二千八十八）

（二千八十九）

（二千九十）

（二千九十一）

（二千九十二）

（二千九十三）

（二千九十四）

（二千九十五）

（二千九十六）

（二千九十七）

（二千九十八）

（二千九十九）

（三千）

（三千一）

（三千二）

（三千三）

（三千四）

（三千五）

（三千六）

（三千七）

（三千八）

（三千九）

（三千十）

（三千十一）

（三千十二）

（三千十三）

（三千十四）

（三千十五）

（三千十六）

（三千十七）

（三千十八）

（三千十九）

（三千二十）

（三千二十一）

（三千二十二）

（三千二十三）

（三千二十四）

（三千二十五）

（三千二十六）

（三千二十七）

（三千二十八）

（三千二十九）

（三千三十）

（三千三十一）

（三千三十二）

（三千三十三）

（三千三十四）

（三千三十五）

（三千三十六）

（三千三十七）

（三千三十八）

（三千三十九）

（三千四十）

（三千四十一）

（三千四十二）

（三千四十三）

（三千四十四）

（三千四十五）

（三千四十六）

（三千四十七）

（三千四十八）

（三千四十九）

（三千五十）

（三千五十一）

（三千五十二）

（三千五十三）

（三千五十四）

（三千五十五）

（三千五十六）

（三千五十七）

（三千五十八）

（三千五十九）

（三千六十）

（三千六十一）

（三千六十二）

（三千六十三）

（三千六十四）

（三千六十五）

（三千六十六）

（三千六十七）

（三千六十八）

（三千六十九）

（三千七十）

（三千七十一）

（三千七十二）

（三千七十三）

（三千七十四）

（三千七十五）

（三千七十六）

（三千七十七）

（三千七十八）

（三千七十九）

（三千八十）

（三千八十一）

（三千八十二）

（三千八十三）

（三千八十四）

（三千八十五）

（三千八十六）

（三千八十七）

（三千八十八）

（三千八十九）

（三千九十）

（三千九十一）

（三千九十二）

（三千九十三）

（三千九十四）

（三千九十五）

（三千九十六）

（三千九十七）

（三千九十八）

（三千九十九）

（四千）

（四千一）

（四千二）

（四千三）

（四千四）

（四千五）

（四千六）

（四千七）

（四千八）

（四千九）

（四千十）

（四千十一）

（四千十二）

（四千十三）

（四千十四）

（四千十五）

（四千十六）

（四千十七）

（四千十八）

（四千十九）

（四千二十）

（四千二十一）

（四千二十二）

（四千二十三）

（四千二十四）

（四千二十五）

（四千二十六）

（四千二十七）

（四千二十八）

（四千二十九）

（四千三十）

（四千三十一）

（四千三十二）

（四千三十三）

（四千三十四）

（四千三十五）

（四千三十六）

（四千三十七）

（四千三十八）

（四千三十九）

（四千四十）

（四千四十一）

（四千四十二）

（四千四十三）

（四千四十四）

（四千四十五）

（四千四十六）

（四千四十七）

（四千四十八）

（四千四十九）

（四千五十）

（四千五十一）

（四千五十二）

（四千五十三）

（四千五十四）

（四千五十五）

（四千五十六）

（四千五十七）

（四千五十八）

（四千五十九）

（四千六十）

（四千六十一）

（四千六十二）

（四千六十三）

（四千六十四）

（四千六十五）

（四千六十六）

（四千六十七）

（四千六十八）

（四千六十九）

（四千七十）

（四千七十一）

（四千七十二）

（四千七十三）

（四千七十四）

（四千七十五）

（四千七十六）

（四千七十七）

（四千七十八）

（四千七十九）

（四千八十）

（四千八十一）

（四千八十二）

（四千八十三）

（四千八十四）

（四千八十五）

（四千八十六）

（四千八十七）

（四千八十八）

（四千八十九）

（四千九十）

（四千九十一）

（四千九十二）

（四千九十三）

（四千九十四）

（四千九十五）

（四千九十六）

（四千九十七）

（四千九十八）

（四千九十九）

（五千）

（五千一）

（五千二）

（五千三）

（五千四）

（五千五）

（五千六）

（五千七）

（五千八）

（五千九）

（五千十）

（五千十一）

（五千十二）

（五千十三）

（五千十四）

（五千十五）

（五千十六）

（五千十七）

（五千十八）

（五千十九）

（五千二十）

（五千二十一）

（五千二十二）

（五千二十三）

（五千二十四）

（五千二十五）

（五千二十六）

（五千二十七）

（五千二十八）

（五千二十九）

（五千三十）

（五千三十一）

（五千三十二）

（五千三十三）

（五千三十四）

（五千三十五）

（五千三十六）

（五千三十七）

（五千三十八）

（五千三十九）

（五千四十）

（五千四十一）

（五千四十二）

（五千四十三）

（五千四十四）

（五千四十五）

（五千四十六）

（五千四十七）

（五千四十八）

（五千四十九）

（五千五十）

（五千五十一）

（五千五十二）

（五千五十三）

（五千五十四）

（五千五十五）

（五千五十六）

（五千五十七）

（五千五十八）

（五千五十九）

（五千六十）

（五千六十一）

（五千六十二）

（五千六十三）

（五千六十四）

（五千六十五）

（五千六十六）

（五千六十七）

（五千六十八）

（五千六十九）

（五千七十）

（五千七十一）

（五千七十二）

（五千七十三）

（五千七十四）

（五千七十五）

（五千七十六）

（五千七十七）

（五千七十八）

（五千七十九）

（五千八十）

（五千八十一）

（五千八十二）

（五千八十三）

（五千八十四）

（五千八十五）

（五千八十六）

（五千八十七）

（五千八十八）

（五千八十九）

（五千九十）

（五千九十一）

（五千九十二）

（五千九十三）

（五千九十四）

（五千九十五）

（五千九十六）

（五千九十七）

（五千九十八）

（五千九十九）

（六千）

（六千一）

（六千二）

（六千三）

（六千四）

（六千五）

（六千六）

（六千七）

（六千八）

（六千九）

（六千十）

（六千十一）

（六千十二）

（六千十三）

（六千十四）

（六千十五）

（六千十六）

（六千十七）

（六千十八）

（六千十九）

（六千二十）

（六千二十一）

（六千二十二）

（六千二十三）

（六千二十四）

（六千二十五）

（六千二十六）

（六千二十七）

（六千二十八）

（六千二十九）

（六千三十）

（六千三十一）

（六千三十二）

（六千三十三）

（六千三十四）

（六千三十五）

（六千三十六）

（六千三十七）

（六千三十八）

（六千三十九）

（六千四十）

（六千四十一）

（六千四十二）

（六千四十三）

（六千四十四）

（六千四十五）

（六千四十六）

（六千四十七）

（六千四十八）

（六千四十九）

（六千五十）

（六千五十一）

（六千五十二）

（六千五十三）

（六千五十四）

（六千五十五）

（六千五十六）

（六千五十七）

（六千五十八）

（六千五十九）

（六千六十）

（六千六十一）

（六千六十二）

（六千六十三）

（六千六十四）

（六千六十五）

（六千六十六）

（六千六十七）

（六千六十八）

（六千六十九）

（六千七十）

（六千七十一）

（六千七十二）

（六千七十三）

（六千七十四）

（六千七十五）

（六千七十六）

（六千七十七）

（六千七十八）

（六千七十九）

（六千八十）

（六千八十一）

（六千八十二）

（六千八十三）

（六千八十四）

（六千八十五）

（六千八十六）

（六千八十七）

（六千八十八）

（六千八十九）

（六千九十）

（六千九十一）

（六千九十二）

（六千九十三）

（六千九十四）

（六千九十五）

（六千九十六）

（六千九十七）

（六千九十八）

（六千九十九）

（七千）

（七千一）

（七千二）

（七千三）

（七千四）

（七千五）

（七千六）

（七千七）

（七千八）

（七千九）

（七千十）

（七千十一）

（七千十二）

（七千十三）

（七千十四）

（七千十五）

（七千十六）

（七千十七）

（七千十八）

（七千十九）

（七千二十）

（七千二十一）

（七千二十二）

（七千二十三）

（七千二十四）

（七千二十五）

（七千二十六）

（七千二十七）

（七千二十八）

（七千二十九）

（七千三十）

（七千三十一）

（七千三十二）

（七千三十三）

（七千三十四）

（七千三十五）

（七千三十六）

（七千三十七）

（七千三十八）

（七千三十九）

（七千四十）

（七千四十一）

（七千四十二）

（七千四十三）

（七千四十四）

（七千四十五）

（七千四十六）

（七千四十七）

（七千四十八）

（七千四十九）

（七千五十）

（七千五十一）

（七千五十二）

（七千五十三）

（七千五十四）

（七千五十五）

（七千五十六）

（七千五十七）

（七千五十八）

（七千五十九）

（七千六十）

（七千六十一）

（七千六十二）

（七千六十三）

（七千六十四）

（七千六十五）

（七千六十六）

（七千六十七）

（七千六十八）

（七千六十九）

（七千七十）

（七千七十一）

（七千七十二）

（七千七十三）

（七千七十四）

（七千七十五）

（七千七十六）

（七千七十七）

（七千七十八）

（七千七十九）

（七千八十）

（七千八十一）

（七千八十二）

（七千八十三）

（七千八十四）

（七千八十五）

（七千八十六）

（七千八十七）

（七千八十八）

（七千八十九）

（七千九十）

（七千九十一）

（七千九十二）

（七千九十三）

（七千九十四）

（七千九十五）

（七千九十六）

（七千九十七）

（七千九十八）

（七千九十九）

（八千）

（八千一）

（八千二）

（八千三）

（八千四）

（八千五）

（八千六）

（八千七）

（八千八）

（八千九）

（八千十）

（八千十一）

（八千十二）

（八千十三）

（八千十四）

（八千十五）

（八千十六）

（八千十七）

（八千十八）

（八千十九）

（八千二十）

（八千二十一）

（八千二十二）

（八千二十三）

（八千二十四）

（八千二十五）

（八千二十六）

（八千二十七）

（八千二十八）

（八千二十九）

（八千三十）

（八千三十一）

（八千三十二）

（八千三十三）

（八千三十四）

（八千三十五）

（八千三十六）

（八千三十七）

（八千三十八）

（八千三十九）

（八千四十）

（八千四十一）

（八千四十二）

（八千四十三）

（八千四十四）

（八千四十五）

（八千四十六）

（八千四十七）

（八千四十八）

（八千四十九）

（八千五十）

（八千五十一）

（八千五十二）

（八千五十三）

（八千五十四）

（八千五十五）

（八千五十六）

（八千五十七）

（八千五十八）

（八千五十九）

（八千六十）

（八千六十一）

（八千六十二）

（八千六十三）

（八千六十四）

（八千六十五）

（八千六十六）

（八千六十七）

（八千六十八）

（八千六十九）

（八千七十）

（八千七十一）

（八千七十二）

（八千七十三）

（八千七十四）

（八千七十五）

（八千七十六）

（八千七十七）

（八千七十八）

（八千七十九）

（八千八十）

（八千八十一）

（八千八十二）

（八千八十三）

（八千八十四）

（八千八十五）

（八千八十六）

（八千八十七）

（八千八十八）

（八千八十九）

（八千九十）

（八千九十一）

（八千九十二）

（八千九十三）

（八千九十四）

（八千九十五）

（八千九十六）

（八千九十七）

（八千九十八）

（八千九十九）

（九千）

（九千一）

（九千二）

（九千三）

（九千四）

（九千五）

（九千六）

（九千七）

（九千八）

（九千九）

（九千十）

（九千十一）

（九千十二）

（九千十三）

（九千十四）

（九千十五）

（九千十六）

（九千十七）

（九千十八）

（九千十九）

（九千二十）

（九千二十一）

（九千二十二）

（九千二十三）

（九千二十四）

（九千二十五）

（九千二十六）

（九千二十七）

（九千二十八）

（九千二十九）

（九千三十）

（九千三十一）

（九千三十二）

（九千三十三）

（九千三十四）

（九千三十五）

（九千三十六）

（九千三十七）

（九千三十八）

（九千三十九）

（九千四十）

（九千四十一）

（九千四十二）

（九千四十三）

（九千四十四）

（九千四十五）

（九千四十六）

（九千四十七）

（九千四十八）

（九千四十九）

（九千五十）

（九千五十一）

（九千五十二）

（九千五十三）

（九千五十四）

（九千五十五）

（九千五十六）

（九千五十七）

（九千五十八）

（九千五十九）

（九千六十）

（九千六十一）

（九千六十二）

（九千六十三）

（九千六十四）

（九千六十五）

（九千六十六）

（九千六十七）

（九千六十八）

（九千六十九）

（九千七十）

（九千七十一）

（九千七十二）

（九千七十三）

（九千七十四）

（九千七十五）

（九千七十六）

（九千七十七）

（九千七十八）

（九千七十九）

（九千八十）

（九千八十一）

（九千八十二）

（九千八十三）

（九千八十四）

（九千八十五）

（九千八十六）

（九千八十七）

（九千八十八）

（九千八十九）

（九千九十）

（九千九十一）

（九千九十二）

（九千九十三）

（九千九十四）

（九千九十五）

（九千九十六）

（九千九十七）

（九千九十八）

（九千九十九）

（十千）

（十千一）

（十千二）

（十千三）

（十千四）

（十千五）

（十千六）

（十千七）

（十千八）

（十千九）

（十千十）

（十千十一）

（十千十二）

（十千十三）

（十千十四）

（十千十五）

（十千十六）

（十千十七）

（十千十八）

（十千十九）

（十千二十）

（十千二十一）

（十千二十二）

（十千二十三）

（十千二十四）

（十千二十五）

（十千二十六）

（十千二十七）

（十千二十八）

（十千二十九）

（十千三十）

（十千三十一）

（十千三十二）

（十千三十三）

（十千三十四）

（十千三十五）

（十千三十六）

（十千三十七）

（十千三十八）

（十千三十九）

（十千四十）

（十千四十一）

（十千四十二）

（十千四十三）

（十千四十四）

（十千四十五）

（十千四十六）

（十千四十七）

（十千四十八）

（十千四十九）

（十千五十）

（十千五十一）

（十千五十二）

（十千五十三）

（十千五十四）

（十千五十五）

（十千五十六）

（十千五十七）

（十千五十八）

（十千五十九）

（十千六十）

（十千六十一）

（十千六十二）

（十千六十三）

（十千六十四）

（十千六十五）

（十千六十六）

（十千六十七）

（十千六十八）

（十千六十九）

（十千七十）

（十千七十一）

（十千七十二）

（十千七十三）

（十千七十四）

（十千七十五）

（十千七十六）

（十千七十七）

（十千七十八）

（十千七十九）

（十千八十）

（十千八十一）

（十千八十二）

（十千八十三）

（十千八十四）

（十千八十五）

（十千八十六）

（十千八十七）

（十千八十八）

（十千八十九）

（十千九十）

（十千九十一）

（十千九十二）

（十千九十三）

（十千九十四）

（十千九十五）

（十千九十六）

（十千九十七）

（十千九十八）

（十千九十九）

（二十千）

（二十千一）

（二十千二）

（二十千三）

（二十千四）

（二十千五）

（二十千六）

（二十千七）

（二十千八）

（二十千九）

（二十千十）

（二十千十一）

（二十千十二）

（二十千十三）

（二十千十四）

（二十千十五）

（二十千十六）

（二十千十七）

（二十千十八）

（二十千十九）

（二十千二十）

（二十千二十一）

（二十千二十二）

（二十千二十三）

（二十千二十四）

（二十千二十五）

（二十千二十六）

（二十千二十七）

（二十千二十八）

（二十千二十九）

（二十千三十）

（二十千三十一）

（二十千三十二）

（二十千三十三）

（二十千三十四）

（二十千三十五）

（二十千三十六）

（二十千三十七）

（二十千三十八）

（二十千三十九）

（二十千四十）

（二十千四十一）

（二十千四十二）

（二十千四十三）

（二十千四十四）

（二十千四十五）

（二十千四十六）

（二十千四十七）

（二十千四十八）

（二十千四十九）

（二十千五十）

（二十千五十一）

（二十千五十二）

（二十千五十三）

（二十千五十四）

（二十千五十五）

（二十千五十六）

（二十千五十七）

（二十千五十八）

（二十千五十九）

（二十千六十）

（二十千六十一）

（二十千六十二）

（二十千六十三）

（二十千六十四）

（二十千六十五）

（二十千六十六）

（二十千六十七）

（二十千六十八）

（二十千六十九）

（二十千七十）

（二十千七十一）

（二十千七十二）

（二十千七十三）

（二十千七十四）

（二十千七十五）

（二十千七十六）

（二十千七十七）

（二十千七十八）

（二十千七十九）

（二十千八十）

（二十千八十一）

（二十千八十二）

（二十千八十三）

（二十千八十四）

（二十千八十五）

（二十千八十六）

（二十千八十七）

（二十千八十八）

（二十千八十九）

（二十千九十）

（二十千九十一）

（二十千九十二）

（二十千九十三）

（二十千九十四）

（二十千九十五）

（二十千九十六）

（二十千九十七）

（二十千九十八）

（二十千九十九）

（三十千）

（三十千一）

（三十千二）

（三十千三）

（三十千四）

（三十千五）

（三十千六）

（三十千七）

（三十千八）

（三十千九）

（三十千十）

（三十千十一）

（三十千十二）

（三十千十三）

（三十千十四）

（三十千十五）

（三十千十六）

（三十千十七）

（三十千十八）

（三十千十九）

（三十千二十）

（三十千二十一）

（三十千二十二）

（三十千二十三）

（三十千二十四）

（三十千二十五）

（三十千二十六）

（三十千二十七）

（三十千二十八）

（三十千二十九）

（三十千三十）

（三十千三十一）

（三十千三十二）

（三十千三十三）

（三十千三十四）

（三十千三十五）

（三十千三十六）

（三十千三十七）

（三十千三十八）

（三十千三十九）

（三十千四十）

（三十千四十一）

（三十千四十二）

（三十千四十三）

（三十千四十四）

（三十千四十五）

（三十千四十六）

（三十千四十七）

（三十千四十八）

（三十千四十九）

（三十千五十）

（三十千五十一）

（三十千五十二）

（三十千五十三）

（三十千五十四）

（三十千五十五）

（三十千五十六）

（三十千五十七）

（三十千五十八）

（三十千五十九）

（三十千六十）

（三十千六十一）

（三十千六十二）

（三十千六十三）

（三十千六十四）

（三十千六十五）

（三十千六十六）

（三十千六十七）

（三十千六十八）

（三十千六十九）

（三十千七十）

（三十千七十一）

（三十千七十二）

（三十千七十三）

（三十千七十四）

（三十千七十五）

（三十千七十六）

（三十千七十七）

（三十千七十八）

（三十千七十九）

（三十千八十）

（三十千八十一）

（三十千八十二）

（三十千八十三）

（三十千八十四）

（三十千八十五）

（三十千八十六）

（三十千八十七）

（三十千八十八）

（三十千八十九）

（三十千九十）

（三十千九十一）

（三十千九十二）

（三十千九十三）

（三十千九十四）

（三十千九十五）

（三十千九十六）

（三十千九十七）

（三十千九十八）

（三十千九十九）

（四十千）

（四十千一）

（四十千二）

（四十千三）

（四十千四）

（四十千五）

（四十千六）

（四十千七）

（四十千八）

（四十千九）

（四十千十）

（四十千十一）

（四十千十二）

（四十千十三）

（四十千十四）

（四十千十五）

（四十千十六）

（四十千十七）

（四十千十八）

（四十千十九）

（四十千二十）

（四十千二十一）

（四十千二十二）

（四十千二十三）

（四十千二十四）

（四十千二十五）

（四十千二十六）

（四十千二十七）

（四十千二十八）

（四十千二十九）

（四十千三十）

（四十千三十一）

（四十千三十二）

（四十千三十三）

（四十千三十四）

（四十千三十五）

（四十千三十

[illegible]

(三) [illegible]

[illegible]

(二) [illegible]

[illegible]

きり　自四　霧（限）[illegible]

(一) 霧、三ケ月。昇行他、平年、十月「山峯霧、谷曇、無復可行之路」

[illegible]

△ 涼。紅葉賞　四ツ　イミジウ　ヨロヅ　空ノ　源俊頼集「チハヤブル　加茂ノ川

霧　きり　中ニ」　木木ニ「晴ヒ　ヒ　文　雪ケノ　雲ヒ　老ヒ　合ヒ」　曙　夏　二月ノ　空」

同　土「伊駒ノ山　きり　隠レツ」　新勅撰ノ　歌ト　イヒ　ヒ　物見ツ　石ヤ　きり　コメテ

(三) 夏雲ル　翔羽ム。　万　一、十　「雷鼓ノ　春日カ　霧流　夏草カ　ヤ　ク　ル

リマル」　住吉　住吉　伊勢　水底　岸　利ヲ　真珠　見ヒ　ズ」

(三) 眠、眠ム。　涼ノ　御法ハ　「臥シテモ　ヒ　キ　涼ノ　干ル　ヤ　ナク　き　寒　ツテ

明カレ　ツ　レ　タ　タ　フ」　源、　夏　木　ヤ　御　き　ヤ　目　き　考　て　心　涼　メ　雅　世　夏　木　ん

一、桐壺「目モ　きり　ニ　見　モ　ベ　ヒ」

（かする（霞）ナス、きりト　輝　ヒ　ん　涼　ん　ヘ　ン（葛葉）　ヤ　き　る（伐）

△ 躬恒集「きり　目　ん　道　見　エ　ズ　も　ス　ニ　ナ　イ　ツ　レ　カ　佐　保　ノ　山　路　ん　ラ」

[illegible]

(三) 服飾

[illegible]

(三) 白粉

[illegible]

[illegible]

[illegible]